

2021 年度

地域創生科学研究科修士論文

地域における外国人留学生支援事業の日中比較研究

—宇都宮市と上海市を事例として—

A comparative study of regional foreign student support between

Japan and China

—Take Utsunomiya City and Shanghai City as examples—

宇都宮大学大学院地域創生科学研究科

社会デザイン科学専攻

206104A

蒋婷怡

要旨

2000 年以降の経済グローバル化の進展に伴い、世界各国は高等教育の国際化を推進し、自国教育の国際競争力を高めている¹。このような中で留学生政策は高等教育の国際化を加速させる主要な要因の一つになった。21 世紀に入って以降、各国の留学生政策は政治、経済、文化などの面において重要視されている。留学生は当該国における将来の国際的な人材として、各国は優秀な人材を確保することを目標としている。各国は、留学生の受け入れが国の文化発展や技術開発に資するものとして位置づけ、留学生の受け入れ方針を進めてきた。そして、国際留学生市場での地位を獲得するために新しい取組を導入するようになっている²。

第一章では、日中両国の留学生の発展の背景を分析し、少子高齢化社会問題、大学の国際競争力、文化伝播の三つの面から留学生受け入れの必要性を述べた。また、日中両国の留学生の数、留学生の出身国、留学生の分布から、現在の日中両国の留学生の現状を解説した。

第二章では、日中両国の留学生教育政策の発展の歴史を述べた。日本では、1983 年に中曽根康弘内閣が提案した「留学生受入れ 10 万人計画」から 2008 年に福田康夫内閣が提案した「留学生 30 万人計画」へと、日本は留学生受入れから就職促進までの全面的な受け入れ政策によって、日本の留学生受け入れの数は継続して大幅な増加傾向にある。中国では、1978 年の対外開放政策を制定してから、経済の持続発展、中国社会の安定が中国の留学生教育発展に重要な役割を果たした。日中両国の留学生政策の発展軌道の理解と比較を通じて、筆者は両者の発展過程における共通点と相違点をまとめた。

第三章から第四章では、筆者はインタビュー訪問法、資料収集法及びアンケート調査法を用いて、現在の宇都宮市と上海市が社会と学校の両面から留学生に提供している支援を理解した。新型コロナウイルスの影響で、筆者は中国上海市に戻って現地調査を行うことができなかったため、資料調査法を選び、上海市の現地に存在する留学生支援体制を理解することに努めた。同時に、宇都宮市国際交流プラザの現地インタビュー及び宇都宮大学と上海海洋大学の留学生に対するアンケート調査を通じて、現在の宇都宮市と上海市における留学生支援事業における問題点を考察する。

第五章では、本研究の研究成果に基づいて分析と考察を行った。

本研究は日中両国の留学生受け入れ政策の変化を通じて、政府、大学と地域社会の留学生受け入れの具体的な取組及び現状を分析し、日中両国の留学生支援体制の実態を客観的に総括する。そして、日本と中国の留学生支援体制の発展と高等教育の国際化推進に資することを目的としている。

¹ 国立教育政策研究所。「OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA)」. 2000-2022.
<https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/index.html> (2021 年 6 月 11 日閲覧)

² 刘蕲芝、「新しい時代における中国の留学生教育」. 研究論文. P42

Abstract

Since 2000, with the development of economic globalization, countries all over the world are promoting the internationalization of higher education and improving the international competitiveness of their own education. Under such circumstances, the foreign student policy has become one of the main factors to accelerate the internationalization of higher education. Since the beginning of the 21st century, international student policy has been attached great importance in politics, economy and culture. As the future international talents of relevant countries, all countries aim to ensure excellent talents.

The first chapter analyzes the background of the development of overseas students in China and Japan, and expounds the necessity of accepting overseas students from three aspects: the aging society with fewer children, the international competitiveness of universities and cultural communication. In addition, from the number of international students in China and Japan, the origin of international students, the distribution of international students and other aspects, to understand the current situation of international students in China and Japan.

The second chapter describes the development history of education policies for overseas students in China and Japan. In Japan, the government of Yasuhiro Aso proposed a plan to admit more than 100,000 Students to study abroad in mid-1983, and the Government of Yasuo Fukuda proposed a plan to admit more than 300,000 students to study abroad in 2008. Since China formulated the policy of opening to the outside world in 1978, the sustained development of economy and the stability of Chinese society have played an important role in the development of the education of Chinese overseas students. Through the understanding and comparison of the development trajectory of the policy of overseas students in China and Japan, the author summarizes the similarities and differences between the two in the development process.

In chapter 3 to chapter 4, the author makes an understanding of the social and school support provided by Utsunomiya city and Shanghai for international students by means of interview, data collection and questionnaire survey. Due to the novel Coronavirus pandemic, the author could not return to Shanghai, China for field investigation. Therefore, the author chose the data investigation method to try to understand the local support system for international students in Shanghai. At the same time, through the field interview in the International Exchange Square of Utsunomiya city and the questionnaire survey of international students in Utsunomiya University and Shanghai Ocean University, the existing problems in the support work of international students in Utsunomiya City and Shanghai are investigated.

The fifth chapter analyzes and investigates the results of this research.

This study analyzes the specific measures and status quo of the government, universities and regional society to accept international students and objectively summarizes the actual situation of the support system for international students in China and Japan through the changes of the policies for international students in China and Japan. It will also contribute to the development of international student support systems and the internationalization of higher education in Japan and China.

目次

はじめに	1
第一章 日中両国の留学生に関する現状分析	4
第一節 日中留学生発展の背景分析.....	4
1. 少子高齢化がもたらす深刻な社会問題	4
2. 大学の国際競争力向上の必要性	4
3. 国際交流を強化し、文化を広める効果的な手段	5
第二節 日中両国の留学生現状.....	5
1. 日本留学生の現状	5
2. 中国留学生の現状	6
第二章 日中両国の留学生教育政策の現状	7
第一節 日本の留学生教育政策.....	7
第二節 中国の留学生教育政策現状.....	9
第三節 日中両国の留学生教育政策の比較.....	10
1. 日中両国の留学生教育政策発展の共通点	10
2. 日中両国の留学生教育政策発展の違い	11
第三章 宇都宮市と上海市の留学生支援の現状	12
第一節 宇都宮市の留学生支援 ―宇都宮市国際交流プラザ―.....	12
1. 日本語教室について（インタビュー）	13
2. 生活支援について（インタビュー）	13
3. 国際文化活動について（インタビュー）	14
4. インタビュー内容の分析とまとめ	15
第二節 上海市の留学生支援.....	15
1. 外国人留学生に対する政府奨学金制度	15
2. 上海市における外国人留学生の就職支援	16
3. 外国人に対する心理支援	17
第四章 宇都宮大学と上海海洋大学の留学生の現状	18
第一節 調査の全体設計と実施.....	18

1. アンケートの構成	18
2. 調査対象の選択	18
第二節 上海市海洋大学と宇都宮大学に対する調査結果	18
1. 基礎情報統計	18
2. 学生募集管理	19
3. 教育管理に関する調査結果分析	22
4. 生活管理に関する調査結果分析	24
5. 奨学金及び就職管理に関する調査結果分析	25
第三節 上海海洋大学馬教授とのオンラインインタビュー内容	26
第五章 宇都宮市と上海市の留学生支援政策現状の比較考察	28
第一節 社会地域からの留学生支援の比較	28
第二節 学校からの留学生支援の比較	28
おわりに	31
補論	32
参考文献一覧	34
資料	38
あとがき	47

はじめに

1. 問題提起

教育事業は一つの国の発展と進歩にかかわる重要な要素である。留学生教育事業の発展はさらに一つの国の教育水準を体現する重要な標識である。日本と中国の留学生教育は、これまでも学術的な注目を集めてきた。

近年、中国の経済社会の発展につれて、特に中国の改革開放の深化に伴い、世界における中国の言葉の地位と国際影響力は大幅に向上した。北京オリンピックや上海万博など大規模な国際イベントの開催に伴い、多くの外国人留学生が中国に進出し、中国の留学生支援政策は盛んに発展した。これは本質的にグローバル化の必然的な結果である。中国の経済と文化の実力が世界で向上し、強化された結果でもある。日本の留学生教育は貴重な経験を持っている。前世紀初めに何度も中国人留学生が日本に留学したクライマックスがあった。近年、日本の留学生支援政策も盛んに発展している。日中両国の留学生教育の発展に伴い、留学生支援体制もますます重要な役割を果たしている。現在、日中両国の支援体制の発展において留学生のニーズを満たすかどうかは検討に値する課題である。

筆者は日本と中国を選んで研究を行った。中国は筆者の母国である一方で、日本は筆者が3年間生活した国である。筆者はこの両国をよく知っており、また濃厚な感情を持っている。調査を行う上でも利便性がある。一方、日本と中国はアジアに属しており、国情は異なるが、その文化には多くの類似点がある。そのため、日本と中国の留学生支援政策を比較し、両者の違いを検討することは、両国の留学生支援政策の長所と短所を補うのに役立つ。

宇都宮市と上海市を具体的な研究都市として選んだ理由については、上海市が中国経済で最も発達した都市として留学生の増加率が上位にランクされていることが知られている。留学生数の増加に伴い、留学生支援体制も整備されているかどうかは検討に値する問題である。日本はこれまで留学生の募集を通じて日本の経済発展を推進し、日本の国際影響力を拡大することを重視してきたが、宇都宮市は日本の中核市として、留学生に対する魅力は東京、大阪などの大都市に及ばない。宇都宮市の留学生支援体制をいかに充実させ、より多くの留学生を誘致するか、宇都宮市の多文化交流を増やし、地域活性化を促進することが重要な課題である。

この研究では日本宇都宮市と中国上海市を例に、両都市の留学生支援体制の地域発展背景、発展現状、支援体制の違いを分析する。同時に、宇都宮市と上海市の留学にアンケート調査と訪問調査を行い、両都市の既存の支援政策に存在する問題点を分析する。筆者はこれらの問題を整理し、日本宇都宮市と中国上海市の留学生教育事業の発展に有益な知見を提供する。

2. 研究動機及び目的

留学生政策は国家の発展と進歩に関わる重要な要素の一つである。留学生政策の発展は更に国家の教育水準の重要な標識ともされている。中国と日本の留学生政策には多くの共通点がある。筆者

は、自らの日本での留学経験を通して得た学びから、日中の留学政策における共通性と差異について考察し、今後の留学生支援体制の在り方について参考意見を提供したいと考えている。日本の留学生政策と中国の留学生政策を比較検討することは今後のグローバルな社会の在り方において現実的な問題である。

中国には日本の高等教育の国際化に対する研究が数多く存在するが、日本の留学生受け入れ政策を具体的に分析する研究は比較的少ない。また、政府、大学、地域社会の三つの主体が外国人留学生を受け入れるための政策に関する研究も比較的少ない。本研究は日中両国の留学生受け入れ政策の変化を通じて、政府、大学と地域社会の留学生受け入れの具体的な取組及び現状を分析し、日中両国の留学生支援体制の実態を客観的に総括する。そして、日本と中国の留学生支援体制の発展と高等教育の国際化推進に資することを目的としたい。

3. 研究方法

(1) アンケート調査

- ・調査対象：宇都宮大学の留学生 38 名、上海海洋大学留学生 35 名
- ・調査時期：宇都宮大学 2021 年 8 月 12 日～ 8 月 31 日
上海海洋大学 2021 年 9 月 4 日～ 9 月 27 日
- ・調査方法：オンラインアンケート（本文 P38 資料参照）
- ・調査内容：このアンケートは宇都宮大学と上海市海洋大学の留学生の管理問題を四つの視座に分けて展開した。第一視座は留学生の募集管理状況である。第二視座は留学生の教育管理状況である。第三視座は留学生の生活管理状況である。第四視座は留学生奨学金と就職管理状況である。

(2) インタビュー調査

- ・調査対象：①宇都宮市国際交流プラザ（日本語教室の担当者李英淑）
（本文 P12 正文参照）
②上海海洋大学（馬教授）（本文 P26 資料参照）
- ・調査時期：①2021 年 9 月時点
②2021 年 7 月時点
- ・調査方法：①直接面接法
②オンライン（Facebook、Wechat）
- ・調査内容：①生活支援、言語支援、文化交流の面から、宇都宮市が外国人留学生に提供している支援についてインタビューを実施した。

②オンラインインタビュー内容は主に上海海洋大学の外国人留学生の授業状況と教員の授業内容と方法をめぐって展開されている。目的は上海海洋大学の外国人留学生の授業効果を理解することである。

第一章 日中両国の留学生に関する現状分析

第一節 日中留学生発展の背景分析

1. 少子高齢化がもたらす深刻な社会問題

日本における、2018年時点でのデータであり³、割合は各層の人口が総人口に占める程度を算出している。これによると、高齢者人口の割合が年少人口の割合よりも高いことが分かる。出生数と合計特殊出生率については、第1次ベビーブームがあった1949年の出生数は270万人、合計特殊出生率は4.32と過去最高であった。それに対して第2次ベビーブームがあった1973年は出生数が210万人、合計特殊出生率は2.14と減少している⁴。2017年は出生数が94.6万人⁵、合計特殊出生率が1.43となり、出生数は過去最低を記録した。

日本の総人口は2010年の1億2,806万人をピークに減少の一途を辿り⁶、人口を維持するために必要な出生率の水準を下回っていることになる。このデータから現在の日本は少子化が急速に進み総人口の減少が抑えられず、高齢者人口の大幅な増加により超高齢社会に突入していると言える。中国においては、第7回全国国勢調査のデータによると⁷、2020年の人口は14億1000万人に達し、出生人口は2019年より260万人、割合としては18%減少し、65歳以上の人口は13.5%に達した。高齢化、少子化の新たな傾向を示している。

日中両国にとって、少子高齢化は大きな影響を与える。まず、労働力は経済発展の重要な要素であり、少子化と高齢化が同時に現れ、社会経済構成に労働力の供給不足の現象が現れ、日本と中国企業の技術革新能力に影響を及ぼした。次に、少子高齢化は社会保障コストを増加させ、企業の福祉負担を増加させ、さらには日中両国の企業競争力に多くのマイナス影響を与える。そのため、日中両国の社会の発展と労働力に対する需要から見ると、優秀な留学生を募集することは上述の問題を解決する重要な措置の一つである。

2. 大学の国際競争力向上の必要性

留学生の数は一国の高等教育の国際化レベルを測定する重要な指標となり、優秀な留学生の数を高めることは高等教育の国際化発展の重要な目標である。

³ 総務省統計局。「人口推計」.2018.10.1.

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2018np/index.html> (2021年12月17日閲覧)

⁴ 内閣府。「平成27年版少子化社会対策白書」.2015.

https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2015/27webhonpen/html/b1_s1-1-1.html (2021年12月17日閲覧)

⁵ 厚生労働省。「2017年人口動態統計月報年計(概数)」.2017.

https://www.meijiyasuda.co.jp/mybizsupport/contents/common/bizinfo/myilw/pdf/report_06.pdf (2021年12月17日閲覧)

⁶ 総務省統計局。「平成22年国勢調査」.2010.

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kihon1/pdf/gaiyou1.pdf> (2021年12月17日閲覧)

⁷ 国家统计局。「第七次全国人口普查主要数据情况」.2021.

http://www.stats.gov.cn/tjsj/zxfb/202105/t20210510_1817176.html (2021年12月17日閲覧)

大学の国際競争力を向上させるため、日中両国の政府は優秀な留学生を日本と中国に誘致する必要がある。積極的な留学生募集は大学の国際競争力を拡大する主な手段である。留学生教育は日中両国の大学の国際化の程度や大学の教育と管理が国際化の要求に適応できるかどうかを確認することができる。大量の留学生は教師と学生の国際化の意識を高めて、日常の管理と教育に対してもっと高い要求を提出し、学校の国際協力と国際化への積極性を高めることができ、高等教育の質と国際化レベルをさらに高めることができる。

3. 国際交流を強化し、文化を広める効果的な手段

日中両国は歴史が古く、文化が深い国であり、多くの優れた伝統文化を残している。特に新しい時代の発展の下で、国は伝統文化の発展をますます重視している。テレビ番組であれ、教育活動であれ、優れた伝統文化を見ることができる。優れた伝統文化は国家間の文化交流と協力を強化するだけでなく、日中文化を世界に向けて発信することができる。留学生は優秀な伝統文化を伝播する担い手である。留学生は日中両国の文化を学び、視野を広げるだけでなく、日中文化を他人に伝えること、国際文化交流を強化することもできる。また、伝統文化を学ぶことで、留学生に日本の着物、茶道、中国の京劇、中国画などの日中文化を体験させることができるだけでなく、日常生活の学習の中で、留学生の伝統文化に対する考えを強めることができる。日中両国の優れた伝統文化を伝えることは、留学生が異文化を尊重する心を育成するだけでなく、留学生を通じて日中両国の文化を世界に普及させることもできる。

第二節 日中両国の留学生現状

1. 日本留学生の現状

日本はアジアの経済先進国として、留学生数でも世界トップクラスにランクされている。独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が開示している「外国人留学生在籍状況調査」によって、日本における外国人留学生の数は、1999年から2013年までは、毎年緩やかな増減を繰り返しているが、2014年に約18万人に増加、2015年以降も毎年3万人のペースで増加し続けている。2018年のデータでは外国人留学生の数は約30万人となり⁸、1999年の約5万5,000人と比較して約5倍になっている。2008年、日本の福田康夫首相（当時）が提案した「2020年までに、30万人の外国人留学生を受け入れて日本に留学する」という目標が実現した。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大による各国の渡航制限が大きな影響を与え、2020年5月の日本における外国人留学生数、2019年度の日本人学生の海外留学数がともに、大幅に減少した。文科省によると、「全国の外国人留学生数は2020年5月現在で27万9,597人、前年に比べて10.4%減った。地域別では教育機関の多い東京に10.3万人と全体26.7万人の38.6%が集中して

⁸ JASSO. 「平成30年度外国人留学生在籍状況調査」.

<https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/zaiseki/data/2018.html> （2021年6月12日閲覧）

いる。東京に続いて大阪、福岡がそれぞれ2.2万人、1.8万人」となっている⁹。しかし、茨城、栃木、群馬などの留学生数は大都市と比べ少ない傾向がある。例えば、平成29(2017)年、栃木県内に3,019人の外国人留学生が居住しており、それらの外国人留学生はグローバル人材としての活躍が期待される貴重な存在である。

2. 中国留学生の現状

2019年4月12日、中国教育部は2018年の中国留学統計を発表した。2018年には、196の国と地域から492,185人の外国人留学者がいる。全国31省（区、市）の1004校の大学で学んでいる。2017年より3,013人増えて、増加率は0.62%である¹⁰。

その内訳を見ると、最多はアジアの学生でその総数は295,043人であり、全体の59.95%を占めている。以下アフリカは81,562人（16.75%）、ヨーロッパは73,618人（14.96%）、アメリカは35,733人（7.26%）、オーストラリアは6,229人（1.27%）となっている。そのうち、韓国50,600人、タイ28,608人、パキスタン28,023人が中国にきた留学生の中で上位3つの国である。留学生の多くは大都市に集中しており、最も多い3つの省は北京、上海、江蘇省である。

⁹ 文部科学省. 「外国人留学生在籍状況調査」および「日本人の海外留学者数」. 2021. 3. 30.
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1412692.htm (2021年9月27日閲覧)

¹⁰ 中华人民共和国教育部. 「来华留学统计」. 2018.
<http://jsj.moe.gov.cn/n2/7001/12107/1277.shtml> (2021年6月12日閲覧)

第二章 日中両国の留学生教育政策の現状

第一節 日本の留学生教育政策

1980年代には、他の先進国に比べ、経済大国の仲間入りをした当時の日本の留学生の数は非常に少なかった。高度経済成長による外国との貿易摩擦や戦後処理をめぐるアジア諸国との対立を緩和するため、1983年当時の日本の中曽根康弘首相が「留学生受入れ10万人計画」を打ち出した¹¹。2000年代初頭までに日本にいる外国人留学生の規模は10万人に達する。発展途上国の人材育成支援と友好促進を目的とした「外交戦略モデル」の理念に基づき、学术交流の理念を強調した。同年、文部省の会議報告書「21世紀留学生政策に関する提案」及び「21世紀留学生政策について」の展開において¹²、当該計画の具体的内容を明確にした。留学生の日本語教育を推進（日本国内及び海外の日本語教育を含む）、留学生の寮の確保、民間活動の推進などを主な内容としていた。

日本の留学生教育は急速に発展してきたが、その過程は常に順調であったわけではない。

表1 「留学生10万人計画」の発展状況¹³

時間	階段特性	事件	学生規模
1983-1992	安定成長期	10万人の留学生受け入れ計画が発表された。	1992年留学生10万人
1993-1999	緩やかな成長期	入国管理法等の制度	約5万
2000-2010	急速成長期	ビザ緩和政策	2010年は約13万人

1983年の「留学生受入れ10万人計画」を上記の表に整理した。今までの日本における留学生教育の発展について、基本的な軌跡をまとめた。上記の整理を経て、10万人の留学生受け入れ計画は留学生の数の急増を直接的に促進した。日本は留学生教育を振興するために日本の留学生教育の国際的な影響力と知名度を高める方針から「留学生受入れ10万人計画」を策定した。

この計画は日本の各大学の目標が定められている。この政策は多くの海外の学生を日本に留学させた。その一方で1990年代に入ってから日本は留学生の管理に厳しい措置（入国管理法及び留学居住資格等の条例を含む）を取っている。これらの法令は外国人留学生の日本留学に対する規範と管理を目的としており、これらの法令が障害となり日本に行く留学生の数は減少していった。1995

¹¹ 文部科学省、「留学生受入れ10万人計画」の概要

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/007/gijiroku/030101/2-1.htm#top
(2021年6月13日閲覧)

¹² 文部科学省、「留学生政策に関する各種提言など」.

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/007/gijiroku/030101/2-2.htm
(2021年6月13日閲覧)

¹³ 文部科学省「留学生受入れ10万人計画」（1983）から作成する。

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/007/gijiroku/030101/2-1.htm#top

年に中学生（13歳～15歳）への就学ビザの発行率は30%まで低下した¹⁴。21世紀に入ってから日本は留学生教育環境の整備を促進し入国管理の上でも次第に入国しやすい体制が完備されていった。ビザ、就職奨励、学校資格審査において、規範性文書が登場した。留学生の教育事業を全体にわたって盛んに発展させた。

留学生の数は急速に増加しているが、政策調整後の留学生の受け入れは政府の期待する質と量の両立には達していない。福田康夫首相は2008年1月の国会演説で「留学生30万人計画」を打ち出した。7月の閣僚懇談会は、文部科学省、外務省、厚生労働省、経済産業省、国土安全省が共同で策定した「留学生30万人計画」の概要を発表し、日本とアジア、世界の人材、資本、情報交流のグローバル戦略の一環として、2020年に留学生30万人を受け入れる¹⁵。この計画の主な方針は入学、入国の手続きを簡素化し、大学の国際化を推進し、魅力的な大学を建設し、留学生が安心して勉強できるような環境を作ること、そして卒業後の社会的受け入れも推進し、社会のグローバル化を図ることであった¹⁶。

その中で、同年発表された「国際拠点推進プロジェクト（G30）」は「留学生30万人計画」の核心的な取組の一環である。国際的な人材獲得競争が激化する中、大学における留学生と外国人教員の割合が低い日本は、世界からの優秀な学生や教員を受け入れ、大学の国際化を推進したいと考えている。また、日本は国内で外国人留学生と日本の学生が共に研究する学術環境を創設し、国際舞台で活躍できる人材を育成することを目指していた。日本国内に「国際的な高素質人材の集合拠点」を形成させるために¹⁷、日本政府は留学生の受け入れ実績をもとに、公募と競争によって「国際化拠点」（すなわち「国際化拠点大学」）となる高品質国立、私立大学を選定し、最終的に東京大学など13の大学を選定し、5年間継続して毎年2～4億円の財政支援を行った。選定された大学は全英文学位課程の開設を通じて¹⁸、英語で高品質の授業を行う外国人教師を配置した。1採択大学につき2カ国以上の海外事務所を設置し、海外の入学希望者が現地で入学審査を受けられる体制を整備するとともに、大学が利用できる拠点としての役割を担うことで、学生、研究者の交流を支援する。

この段階の政策は日本にいる留学生の規模の拡大を強調するだけでなく、留学生の卒業後の日本での就職を促進することを強調した。例えば「日本再興戦略改2014」では、日本経済発展における留学生の日本での就職の拡大の重要性を強く強調し、留学生の重要性をさらに明確にした。「日

¹⁴ 薛明、「現代日本留学生の発展と啓発」、華東師範大学修士論文、2008。

¹⁵ 文部科学省、「留学生30万人計画」骨子の策定について、2017.10.21。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1420758.htm（2021年6月13日閲覧）

¹⁶ 文部科学省、「留学生30万人計画」骨子の概要、2017.10.21。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/_icsFiles/afieldfile/2019/09/18/1420758_002.pdf（2021年6月13日閲覧）

¹⁷ 文部科学省、「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」、2017.10.21。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/1260188.htm（2021年6月14日閲覧）

¹⁸ 採択大学：東北大学、筑波大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、慶應義塾大学、上智大学、明治大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学

本の再興戦略改訂 2016」は¹⁹、政府・高校・社会通力協力を明確に打ち出し、2020 年までに外国
人留学生の日本での就業率を 30%から 50%に引き上げることを数値目標に掲げた²⁰。

第二節 中国の留学生教育政策現状

表 2 中国の留学生政策状況²¹

時間	段階特性	事件	学生規模
1978-1990	初歩的発展期	改革開放	1990 年留学生は 8 万人に達した
1991-2000	急速成長期	自費で留学規定など	約 10 万人
2001-2018	安定成長期	中国が WTO に加盟し、開放が拡大した	2018 年には約 49 万人に達した

中国の留学生支援は遅れていた。それは、1978 年から取り上げた教育事業の発展の重要な内容である。中国留学生教育事業は中国の対外開放政策に伴って成長した。対外開放政策を制定してから、経済の持続発展、中国社会の安定が中国の留学生教育発展に重要な役割を果たした。中国経済の急速な発展は中国の留学生の教育に必要な経済的支援や物質保障を獲得した。

表に見られる中国の留学生教育の発展は中国の対外開放政策の発展に伴って改善される。その中で最も重要なのは中国が対外開放の政策と一連の留学生教育を規範化、整備、発展させるための政策と条例である。

例えば、1978 年、中国共産党第十一期中央委員会第 3 回全体会議の開催前後、中国の留学教育事業は発展した。改革開放と経済社会建設の需要に適応し、中国の留学教育政策は絶えず調整され、向上している。1979 年 5 月、教育部、外交部、文化部と公安部は「外国人留生活動試行条例(改訂稿)」を公布し²²、「文化大革命」期の中国への留学生教育政策を修正し、将来、中国の留学教育政策を「社会主義現代化建設の加速のためのサービス」に調整した。1981 年 1 月 1 日から

¹⁹ 内閣部「日本の再興戦略改訂 2016」。

https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/minutes/2016/0602/sankou_04.pdf
(2021 年 6 月 14 日閲覧)

²⁰ 日本学生支援機構「外国留学生の就職促進について」。2017. 6.

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/job/_icsFiles/afieldfile/2018/12/06/01_h29guidance_monka_shiryo.pdf
(2021 年 6 月 14 日閲覧)

²¹ 李小红、彭文秋「改革开放后来华留学生教育发展的三次浪潮」(2020. 3) から作成。

<https://d.wanfangdata.com.cn/periodical/zgjyxx202003010>

²² 教育部、外交部、文化部、公安部「外国人留生活動試行条例(改訂稿)」。1979. 5.

<http://www.yidianzixun.com/article/OKZsOSXM> (2021 年 11 月 20 日閲覧)

実施された「中華人民共和国学位条例」は²³、中国に來た留學生が法に基づいて学位を申請することができ、中国に來た留學生の学位を授与するための法規を明確に規定している。

1985 年 10 月、國務院の許可を得て、國家教育委員會、外交部、文化部、公安部と財政部は共同で「外國人留學生管理方法」を公布し²⁴、中国への留學教育が中国と世界各國の「教育、科學技術、文化交流と經濟貿易協力」を展開する促進作用を強調した。元國家教委が 1989 年 6 月に発表した「自費外國人留學生の募集に関する規定」は²⁵、自費留學生の募集審査・認可権を省の 1 級教育行政部門に委譲し、中国に來た留學生を受け入れる大学の範囲を拡大するとともに、高等学校に自主的に募集する権利を与え、大学のために國際學生流動市場に積極的に参加した。實質的に中国への留學教育の發展を実現するための有利な条件を作った。

第三節 日中兩國の留學生教育政策の比較

1. 日中兩國の留學生教育政策發展の共通点

日中兩國の留學生政策發展の共通点は、留學生の数だけを追求することから、留學生の数と質を同時に追求することへの轉換である。

日本の留學生教育における入学に関する政策の主要なものは二つある。一つは 1983 年に發表された「留學生受入れ 10 万人計画」であり、もう一つは 2008 年の「留學生 30 万人計画」である。

「留學生受入れ 10 万人計画」は日本の留學生教育事業の發展を直接助長し、日本での外國人留學生の数を急速に増やした。2008 年に提出された「留學生 30 万人計画」はこれまでの留學生数を維持した上で大学院生入学の資格、日本語の能力レベル、ビザの要求などについて調整と規定を行った。ここから日本は依然として「人材國際貢獻」の向上という目標を堅持している。留學生の数を追求するだけでなく、留學生の行動に対するより高い要求を提出した。

中国の留學生管理は發展初期に對外開放活動の重要な一環とされ、中国の國際化を実現するための重要なツールである。主に中国の對外開放政策は中国と外國の交流のプラットフォームを構築する。したがって、中国の留學生教育發展のスタート段階において、留學生数を増やすことはもっとも重要である。中國經濟の發展に伴い、中国の留學生数は急増しており、中国は留學生の行動を厳しく管理し始め、留學生の留學目標を調整した。有用な人材を育成することを目指す²⁶。

²³ 全國人民代表大會常務委員會。「中華人民共和國學位條例」, 1980. 2.

<http://www.gs.fudan.edu.cn/6a/e6/c2800a27366/page.htm> (2021 年 11 月 20 日閲覧)

²⁴ 國務院。「外國留學生管理辦法」, 1985. 10. 14.

<https://baike.baidu.com/item/外國留學生管理辦法/4624272?fr=aladdin> (2021 年 11 月 20 日閲覧)

²⁵ 國家教育委員會。「關於招收自費外國來華留學生的有關規定」, 1989. 6.

<https://baike.baidu.com/item/關於招收自費外國來華留學生的有關規定/50442694?fr=Aladdin>
(2021 年 11 月 20 日閲覧)

²⁶ 徐海寧。「中美日三國留學生教育的狀況與政策比較研究」, 河北科技大學學報 社會科學版 2001. 6

2. 日中両国の留学生教育政策発展の違い

以上、日中両国の留学生政策について概観した。中国は留学生管理において多くの具体的な法律法規を公布している。日本の留学生管理政策における具体的な法律法規は中国より少ない。これにより、日本では10万人留学生計画を受け入れた後、留学生の数は急速に増加したが、留学生の行動は十分に良いとは言えなかった。例えば、城西国際大学1300人以上の留学生のうち200人以上の長期にわたって授業を受けない留学生がいる²⁷。それ以外に、留学生の犯罪率が高くなった問題もある（警視庁によるデータ）²⁸。これらが学生募集の数だけを重視し、品質を重視しないことによる結果である。

中国人留学生の教育品質管理は日本に比べて遅れているが、多くの関連規範、条例が公布された。留学生教育の管理と規範化を行う。これは基本的に留学生が中国に来るいくつかの条件、手続き、発展原則と育成方向に対する規定である。2001年1月教育部は「高等学校が外国人留学生を受け入れる管理規定」を公布し、教育の質を厳格にコントロールし始めた。たとえば、この規定の第5章「教育管理」の中の教育の質に対して要求を提出し、留学生の数だけを求めることからの方向転換をした。この規定により、留学生の全体的なレベルが効果的に向上した。

以上から分かるように、日中両国の留学生教育政策の発展軌跡は異なるが、発展目標は同じであり、より多くの優秀な留学生を引きつけるためである。日中両国の留学生教育政策の改善に伴い、留学生の数は多くなり、留学生教育事業は国の発展においてもますます重要な役割を果たしている。留学生支援体制は留学生の他国での生活の基本的な保障である。地域内での協力を行う留学生の誘致・支援の目的は、教育の国際化、地域の国際化、優秀な外国人材の獲得などが、主目的となっているケースが多い。地域に全面的な留学生支援体制があれば、留学生に強い帰属感を与え、日本や中国で働く意欲が高まるとともに、より多くの優秀な留学生を引きつけることができる。筆者は日本宇都宮市と中国上海市を選んで留学生支援実状調査を行った。具体的な調査結果は以下に説明する。

²⁷ 薛明. 「当代日本留学生的发展与启示」. 华东师范大学硕士学位论文. 2008

²⁸ 警察庁. 「来日外国人犯罪の情勢」. 2018.
<https://www.npa.go.jp/hakusyo/h29/honbun/html/t4310000.html>
(2021年11月20日閲覧)

第三章 宇都宮市と上海市の留学生支援の現状

第一節 宇都宮市の留学生支援 ー宇都宮市国際交流プラザー

2021年9月19日に宇都宮市国際交流プラザを訪問した。生活支援、言語支援、文化交流の面から、宇都宮市が外国人留学生に提供している支援についてインタビューを実施した。



写真1 宇都宮市国際交流プラザ²⁹

宇都宮市国際交流プラザ（UCIA）は市民を主体とした幅広い分野における国際交流と多文化共生を推進し、相互理解と友好親善に努め、宇都宮市の国際化と世界平和に貢献することを目的として活動している³⁰。

宇都宮市国際交流プラザは宇都宮市都心の馬場大道に位置している。地理的にめぐまれており、初めて訪れる外国人にもわかりやすい立地である。宇都宮市国際交流プラザは九つの事業委員会³¹に分かれており、各委員会がそれぞれその役割を果たしている。

●●● 9つの事業委員会と主な事業内容 ●●●		
広報渉外委員会 情報スクランブル・会報誌の発行 他団体との交流事業の渉外 UCIAのPR	組織拡大委員会 会員募集・会員拡大の検討	国際理解・協力委員会 国際理解講演会 国際協力・支援など
地域交流委員会 外国人住民との交流事業 施設見学会・BBQの集い、 パスツアーなど	日本文化委員会 日本文化ふれあいの会 日本文化ふれあい教室 留学生等への日本文化紹介	姉妹都市交流委員会 中学生、高校生の派遣・受入事業 姉妹文化友好都市の紹介 その他の外国都市との交流
外国語委員会 外国語講座（英語・フランス語・スペイン語・ イタリア語・中国語・韓国語など） 通訳研修会	日本語委員会 外国人のための日本語教室 日本語支援ボランティア養成講座 ふれあい日本語教室	ホストファミリー委員会 ホストファミリー登録 ホームステイの受入れ ホームビジットの受入れ

写真2 宇都宮市国際交流プラザ事業委員会³²

²⁹ 2021年9月19日インタビュー時に筆者が撮った写真。

³⁰ 宇都宮市国際交流協会。 <https://www.ucia.or.jp/outline.html>。（2021年9月20日閲覧）

³¹ 9つの事業委員会：広報渉外委員会、組織拡大委員会、国際理解・協力委員会、地域交流委員会、日本文化委員会、姉妹都市交流委員会、外国語委員会、日本語委員会、ホストファミリー委員会。

³² 2021年9月19日インタビュー時に筆者が撮った写真。

宇都宮市国際交流プラザの李氏を訪問した。インタビューにおけるやり取り内容を次のようにまとめた。

1. 日本語教室について（インタビュー）

日本語教室は宇都宮市国際交流プラザが外国人に提供する多言語対応支援である。外国人の言語レベルによっては初級クラス、中級クラス、上級クラスがあるが、それ以外に外国人 JLPT 日本語検定のクラスも設けられている。日本語教室は週に一回の授業がある。毎月の授業料は2000 円未満である。筆者は宇都宮市国際交流プラザの李氏へインタビューを実施した。李氏の言葉をまとめる。

日本語教室は学生のレベルによって、異なるクラス編成をしている。例えば、初級クラス、中級クラス、上級クラスがあって、初級クラスの中で初級クラス1、初級クラス2 など細かくレベル分けをして実施している。初級クラスの学生が最も多く、一クラスは十人ぐらいである。その中の一人の講師は3 人から4 人の学生を担当している。講師たちは主婦やシルバー人材で、空いている時間を利用してボランティアとして講師をつとめている。講師謝金等は発生しない。宇都宮市国際交流プラザでは交通費のみを支給している。これらの講師の多くは教育に関心があり、以前に教師をしたことがあった講師もいる。新型コロナウイルス感染拡大以前はほとんどがシルバー人材であった。

しかし、コロナ禍となり、ボランティアに来る若い教師も増加して、30 歳代の講師もたくさんいる。講師たちは正式に授業が始まる前に一年間の研修を受ける必要がある。これらの研修は宇都宮市役所から委託されているので、学生たちは安心して授業に受けることができる。学生については、中国から来る学生が一番多い。次は主にベトナム、タイ、フィリピンなどの国から来た留学生が多い。新型コロナウイルスの影響で、今の学生数は以前ほど多くなかった。このほか、宇都宮市国際交流プラザが外国人留学生を支援するのは留学生向けの教室だけではなく、李氏は宇都宮市国際交流プラザが宇都宮市教育委員会の委託を受けて、宇都宮市の小学校や中学校を定期的に訪問して、入学したばかりの外国人学生に寄り添い、授業環境に適応するために支援を行っている。

2. 生活支援について（インタビュー）

宇都宮市国際交流プラザの入り口には、中国語、英語、タイ語、スペイン語など外国人向けの生活ガイドがたくさん置いてある。外国人は自分の需要に応じて、入り口で自分の欲しい情報をすばやく見つけられ、とても便利である。その他にも、外国人のための総合相談があり、多言語相談が含まれている。外国人のための生活支援の中で、日本に来たばかりで日本語ができない人に対して、ボランティアが外国人と一緒に市役所や学校に行き、通訳の支援もしている。

宇都宮市の国際交流プラザのスタッフはほとんど複数の（2、3種類）の言語ができて、外国人留学生支援をさらに充実させることができる。また、新型コロナウイルスの特殊な時期に、宇都宮市国際交流プラザは外国人向けの24時間電話ホットラインを設置し、この特殊な時期に焦りや不安を感じている外国人に心理相談を行っている。外国人が異国で孤独を感じないようにする。就職については、宇都宮市国際交流プラザも外国人に協力して、外国人の就職情報を提供するとともに、面接練習を手伝っている。



写真3 外国語相談³³

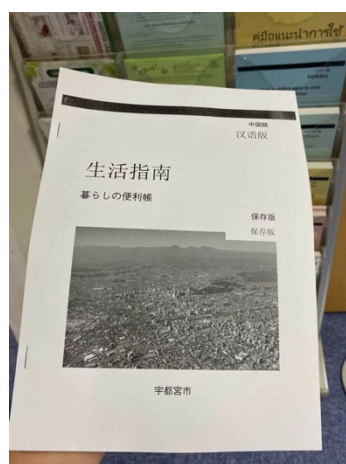


写真4 多言語生活指南³⁴

3. 国際文化活動について（インタビュー）

宇都宮市国際交流プラザでは毎年大きな文化交流活動が行われている。参加人数は300人ぐらいである。イベントの主な内容は外国人に日本の文化を紹介することである。例えばおにぎりを作ったり、茶道文化を普及させたり、日本のお菓子を紹介したりする。また、宇都宮大学などの大学のサークルも宇都宮市国際交流プラザの国際交流活動に参加し、日本のダンスなどを外国人に紹介する。国際文化交流活動に参加するのは主に大学生であるが、その中で留学生は非常に少ない。留学生はこのような活動に大きな興味を示しているが、情報の入手や活動の参加方法が分からない。また、宇都宮市国際交流プラザでは毎週講座を開設しているが、その内容は外国人が自国の文化を紹介したり、日本にきた感想を共有したりすることである。ここ二ヶ月の活動では、2021年7月17日から毎週土曜日栃木県国際交流センターで「世界を感じる」をテーマにしたセミナーを開催する。計16回、栃木県民と外国人の多文化交流を促進することを目的として開催する。

³³ 2021年9月19日インタビュー時に筆者が撮った写真。

³⁴ 2021年9月19日インタビュー時に筆者が撮った写真。

4. インタビュー内容の分析とまとめ

地域経済の活性化の面から、国際交流の推進は重要な鍵となっている。筆者と宇都宮市国際交流プラザの李氏のインタビューの内容から、宇都宮市国際交流プラザは宇都宮市の重要な組織として留学生への支援を全面的に行っていることがわかる。言語、生活、異文化、留学生の心理面からも関わっている。このうち、留学生支援の主体は宇都宮市から時間に余裕のある日本人ボランティアである。このような留学生への支援方式は、留学生が宇都宮市の生活に適応できるほか、日本文化と他国文化の多文化交流を促進することができる。多文化交流は地域活動に不可欠な一部である。この点、宇都宮国際交流プラザが現在留学生に提供している支援は地域活性化において重要な意義を持っている。

宇都宮市では、留学生の地域支援が全面的に行われているが、李氏へのインタビューから、留学生の参加率が低いという問題もある。李氏によると、宇都宮市国際交流プラザで行われたイベントでは、外国人が多いにもかかわらず、留学生の数は少ないという。このほか宇都宮国際交流プラザは外国人支援が多いが、留学生のみの支援はない。支援を受ける外国人の多くは留学生ではない。宇都宮市国際交流プラザの宣伝が留学生の中で不十分である。筆者の周りの留学生もこのような活動はほとんど知らず、国際交流プラザという組織についても知らないと話している。現在留学生にはこのような傾向があると思う。留学生は増加しているが、それぞれの大学の中で完結し、地域社会との接点が少ないことが伺える。インターネットでは知り得ない、キャンパスだけでは体験できない日本の日常や人情にふれてもらうこともまた留学の大切な意義である。

宇都宮市国際交流プラザとしては、地元の大学との訪問や協力を強化し、より多くの留学生に地域活動への参加を呼びかけ、地域文化に溶け込んでいく必要がある。

第二節 上海市の留学生支援

1. 外国人留学生に対する政府奨学金制度

上海市の外国留学事業の健全な発展と各国人民間の教育・文化交流を促進するため、上海市財務省、教育部は上海市外国人留学生政府奨学金助成体系をさらに充実させ、奨学金助成基準を引き上げた³⁵。

(1) 奨学金援助体系の整備

上海市の外国人留学生政府奨学金を援助する。まず、上海に来て、本科予科、本科、修士、博士などの高等教育を受けるための優秀な外国人留学生を援助する。奨学金の学習レベル、学科別にA類奨学金とB類奨学金をそれぞれ設置し、A類奨学金の援助内容は学費、宿泊費、生活費、総合医療保険費を含む。B類奨学金の援助内容は学費、総合医療保険費を含む。次に上海市政府が関係国

³⁵ 上海市財政局、上海市教育委員会。「关于进一步完善上海市外国留学生政府奖学金资助体系和提高资助标准的通知」. 沪财教 55 号. 2015. 09. 18

の友好都市、学校及び国際組織等と制定した教育協定に基づき、対外的に留学資金提供する。最後は、上海市の優秀留学生奨学金を設立し、学業成績が特に優れている留学生を奨励する。

(2) 奨学金援助基準の引き上げ

「中国政府奨学金」の内容と基準を参考して、上海市のA類とB類留学生奨学金の資金援助基準を調整し、上海市の社会経済発展と物価変動などの状況に基づいて上海市留学生奨学金基準を見直し調整する。特定の人と特定の目標に対して設立された特別奨学金プロジェクトについては、助成内容と助成基準はプロジェクト協定に従って実行される。

本科予科教育を受ける必要がある奨学金生については、その資金援助基準は本科A類標準に従って実施される。

(3) 留学生奨学金の支給と監督管理体制の充実

上海市教育委員会は毎年、大学外国人留学生の発展規模、学位学生の比率、業績評価などの要素を合わせて、大学に特別手当を支給している。大学は奨学金管理の必要に応じて、奨学金を獲得した外国人留学生に対して、以下のように支給し、管理することができる³⁶。まず、学費は大学が奨学金の育成、管理及び奨学金を支給するためにイベント、見学などの活動を行い、奨学金生は授業料を免除する。次に、宿泊費は大学が奨学金生宿舍の日常運転、管理、条件改善に充てる。奨学金の管理規定により、奨学金生が自分で宿泊を手配する場合、大学は宿泊料の基準に従って月または四半期ごとに奨学金を支給する。最後は、生活費は大学が月々定期的に奨学金を支給する。総合医療保険料は大学が規定により奨学金生に総合医療保険を購入する。

奨学金学生は規定に従って奨学金資格年度の審査を受ける。審査は大学が関連規定通りに行い、審査に合格しなかった場合、所定の奨学金の受給資格を中止またはキャンセルされる。大学は国家の関連法律と財務制度を厳格に遵守し、資金の使用と管理を健全化する具体的な実施方法を確立し、内部監督を完備しなければならない。留学生奨学金は単独で計算し、専用の資金を確保し、年度終了または事業完了時に市教委に経費使用状況を書面で報告する。大学の責任者は資金の使用の合法性、真実性と完備性に対して責任を負い、国家財政経済規定を自覚的に守る。

2. 上海市における外国人留学生の就職支援

上海市政府新聞は2015年8月18日に記者会見を行い、上海科学創造センターの海外人材導入政策の実施方法を紹介した。これは海外人材プロジェクトが実施段階に入ることを示している。以下、記事の内容を抜粋した³⁷。

³⁶ 上海市財政局、上海市教育委員会。「关于进一步完善上海市外国留学生政府奖学金资助体系和提高资助标准的通知」. 沪财教55号. 2015. 09. 18

³⁷ 上海市政府新聞办。「上海试点外国留学生毕业后直接留沪就业」. 2015. 8. 18.
http://news.cnr.cn/native/gd/20150818/t20150818_519572451.shtml (2021年9月23日閲覧)

この中には、上海市の外国人留学生の卒業後の就職支援も含まれる。上海市では外国人留学生が卒業後、直接上海に滞在して就職する試験を実施している。このモデルは主に前の外国人の上海での就職経験が二年間の制限を突破し、上海地区の大学で修士以上の学位を取得した外国人留学生に対して、上海自由貿易試験区が発行した証明書に基づいて、上海市人的資源と社会保障局に外国人就業手続きを申請する。

それから、「外国人就職証」を持って³⁸、上海市出入国管理局に行って、相応の業務類居留証を申請する。外国人就業証の有効期限は一年で、期限が切れたら延期を申請できるのである。

3. 外国人に対する心理支援

上海にいる外国人の生活、勉強、仕事の問題を解決するために、上海では外国人のための電話ホットラインを設けている³⁹。上海での新型コロナウイルス予防期間中、この対外ホットラインは外国人のために難しい問題を解決する上で大きな役割を果たした。このホットラインは海外留学経験のある中国人や中国国内の外国語専門の大学院生がサービスを提供する。

現在は英語、韓国語、日本語、ロシア語、スペイン語、イタリア語など10カ国以上の言語が含まれている。サービスでは、単に多言語への対応要求がある以外にも、文化に対する理解と表現がより強く求められる。これ以外にも、外国人留学生の気持ちを理解する共感能力が必要である。

電話をかけている時は、多くの外国人が感情的になるようだ。早期に問題の核心をつかみ、知識を使って準備したり、迅速な検索能力で答えを得たりして、助けを求める人に問題解決の方法を理解させる必要がある。新型コロナウイルス時期には、このホットラインは多くの外国人から助けを求められている。

外国人の言語の違い、観念の違い、現地の状況に慣れていないなど、彼らの問題を迅速に処理するのは大変難しい。このような混乱した状況はホットラインが開通してから初めてのことである。

³⁸ 外教中国. 「上海外国人工作许可证办理材料及流程指南」. 2017. 9. 22.
http://www.teslcn.com/news_details.php?id=1617 (2022年9月23日閲覧)

³⁹ 澎湃新闻. 「在沪“老外”超喜爱的神奇热线」. 2020. 3. 6.
https://www.sohu.com/a/378160155_260616
(2021年9月23日閲覧)

第四章 宇都宮大学と上海海洋大学の留学生の現状

第一節 調査の全体設計と実施

本研究の調査はアンケート調査を主とし、インタビューで補完した。アンケートの対象は宇都宮大学と上海市海洋大学の留学生である。新型コロナウイルスの影響でネットアンケートにより実施した。

1. アンケートの構成

アンケートは、宇都宮大学と上海市海洋大学の留学生の管理問題を四つの視点に分けて実施した。第一視点は留学生の募集管理状況。第二視点は留学生の教育管理状況。第三視点は留学生の生活管理状況。そして第四視点は留学生奨学金と就職管理状況。今回対象なる留学生の多言語対応を意識してこのアンケート用紙は英語、日本語、中国語でも作成した。

2. 調査対象の選択

宇都宮大学と上海海洋大学の留学生に対するアンケート調査はオンライン形式で行われた。宇都宮大学の留学生調査は筆者が独自に行い、上海海洋大学の留学生調査は上海海洋大学の馬教授が協力して行った。調査人数は宇都宮大学の留学生 38 人（任意に依頼）と上海市海洋大学の留学生 35 人（任意に依頼）である。今回の調査は全部で 80 件の留学生アンケートを発行した。実際には 73 件が回収できた。回収率は 91.25%、有効回答 73 件、無効回答は 0 件であり、有効回答率は 100%である。

第二節 上海市海洋大学と宇都宮大学に対する調査結果

1. 基礎情報統計

上海海洋大学の留学生統計の基礎情報では、男性は 21 人（60%）で女性留学生は 14 人（40%）であった。アジア人留学生の 15 人（42.9%）が最も多く、次いでアフリカ 11 人（31.4%）、アメリカ 4 人（11.4%）、ヨーロッパ 3 人（8.6%）、オーストラリア 2 人（5.7%）と続いている。

宇都宮大学の調査対象者によると、上海海洋大学と同様に男性が女性より多く、男性が 22 人（57.9%）、女性は 16 人（42.1%）だった。調査対象者の中には、アジアやアフリカからの留学生が多い。アジアの人数は 27 人（71.1%）で、アフリカの人数は 11 人（28.9%）である。

表3 留学生の男女比率（上海海洋大学）

	男性	女性	合計
人数	21	14	35
割合	60%	40%	100%

表4 留学生の男女比率（宇都宮大学）

	男性	女性	合計
人数	22	16	38
割合	57.9%	42.1%	100%

表5 留学生の出身地統計（宇都宮大学）

	アジア	アフリカ	合計
人数	27	11	38
割合	71.1%	28.9%	100%

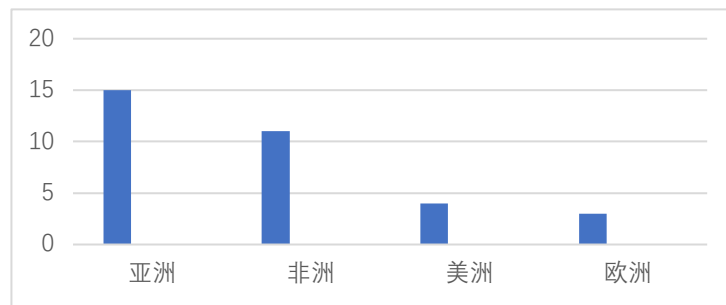


図1 留学生の出身地統計（上海海洋大学）

2. 学生募集管理

学生募集管理は宇都宮市と上海市の留学生募集管理、留学生言語レベルなどを考察した。まず、上海海洋大学の調査結果について、留学生の留学目的について質問されたが、このうち23人(65.7%)は中国に留学するのは主に個人の興味によるものとしている。7人(20%)は中国の学生募集の宣伝が効果的だとしている。ここから分かるように、中国に来た留学生の半数近くは中国の各方面の条件に引きつけられたので、中国の留学生募集の宣伝の効果はそこまで顕著ではない。学生募集管理が留学生の中国への留学態度に与える影響をさらに調べるために、具体的な質問をした。

例えば、学生募集管理があなたをひきつけているかどうかについては、2人(5.7%)が肯定している。33人(94.3%)が学生募集管理に魅力がないと表している。以上のデータから見ると、学生募集管理は5.7%の留学生に決定的な役割を果たしているだけである。

宇都宮大学の留学生に対する調査結果によると、30 人（79%）は個人の興味から日本に留学したいと答え、4 人（10.5%）は日本の学生募集政策のため、残りの 4 人（10.5%）は交流訪問を希望している。ここから見ると、両国とも学生募集の宣伝効果は上げられていない。宇都宮大学留学生の募集管理について知っている人は 5 人（13.2%）で、23 人（60.5%）は「少ししか知らない」とし、10 人（26.3%）は「よくわからない」と答えた。また、宇都宮大学留学生の募集管理が留学生にとって魅力的かどうかについては、留学生の過半数が魅力的ではないとしている。

表 6 留学目的（上海海洋大学）

	興味	学生募集宣伝	交流訪問	合計
人数	23	7	5	35
割合	65.7%	20%	14.3%	100%

表 7 留学目的（宇都宮大学）

	興味	学生募集宣伝	交流訪問	合計
人数	30	4	4	38
割合	79.0%	10.5%	10.5%	100%

表 8 留学前に中国留学生募集政策について知ったか？（上海海洋大学）

	よく知った	少し知った	知らなかった	合計
人数	6	16	13	35
割合	17.1%	45.7%	37.2%	100%

表 9 留学前に日本留学生募集政策について知ったか？（宇都宮大学）

	よく知った	少し知った	知らなかった	合計
人数	5	23	10	38
割合	13.2%	60.5%	26.3%	100%

このような留学決定に対する周りの影響を調べるために、学生や友人が留学に来たかどうかを聞いたところ、上海海洋大学の調査対象者の 21 人（60%）はい、14 人（40%）はいないと答えた。宇都宮大学の調査対象者のうち 21 人（55.3%）はい、17 人（44.7%）はいないと答えた。このように、身近な人は留学生の留学決定に影響を与えているようである。

留学生は中国に留学する前に中国語のレベル試験に合格する必要がある。日本の大学院に入学する前に日本語のレベル証明も必要である。学生募集の観点では最後に留学生の言語習得状況を調査した。質問 13 は留学生が留学する前に特別に言語を勉強したかどうかを調査した。上海海洋大学の

調査結果によると、23 人 (65.7%) の人は肯定している。12 人 (34.3%) の留学生は学んだことがないと答えた。中国に来る前に言語のレベルを聞かれた時、「読解とコミュニケーションには問題がない」が 3 人 (8.6%)、「読むことができるが、コミュニケーションにはまだ障害がある」が 5 人 (14.3%) は、「読書とコミュニケーションには障害がある」が 27 人 (77.1%) という結果になった。中国に来てから、19 人 (54.3%) の留学生が読みと交流は全部問題ないと答えた。13 人 (37.1%) は読み能力があるが、まだ障害があると表示した。

宇都宮大学の調査結果によると、92.1%の留学生は日本に来る前に日本語を勉強する機会があった。3 人 (7.9%) は学んだことがないと答えた。日本語を学ぶ機会があった留学生のうち、4 人 (10.5%) は、日本に来る前に日本語の読み書きとコミュニケーションには問題がないと答え、9 人 (23.7%) は読むことができるが、コミュニケーションにはまだ障害があると表明した。25 人 (65.8%) は読書とコミュニケーションに障害があったとした。留学している今現在、16 人 (42.1%) の留学生が「今は読書とコミュニケーションができる」としているが、19 人 (50%) は「読むことはできるが、コミュニケーションにはまだ障害がある。」としている。3 人 (7.9%) はこれらの 2 つの項目にはまだ障害があるとしている。これによると、中国でも日本でも留学後、留学生の言語レベルの進歩が大きいといえる。

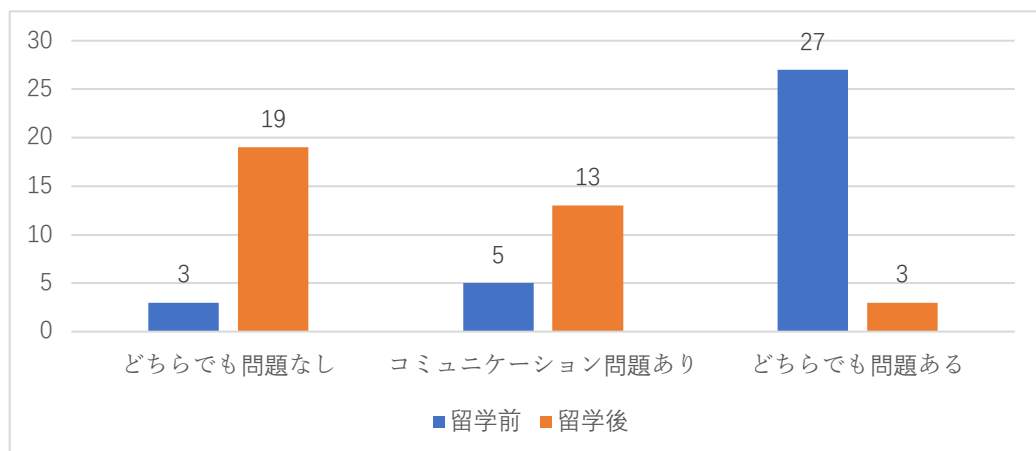


図2 留学前後の言語レベル比較図 (上海海洋大学)

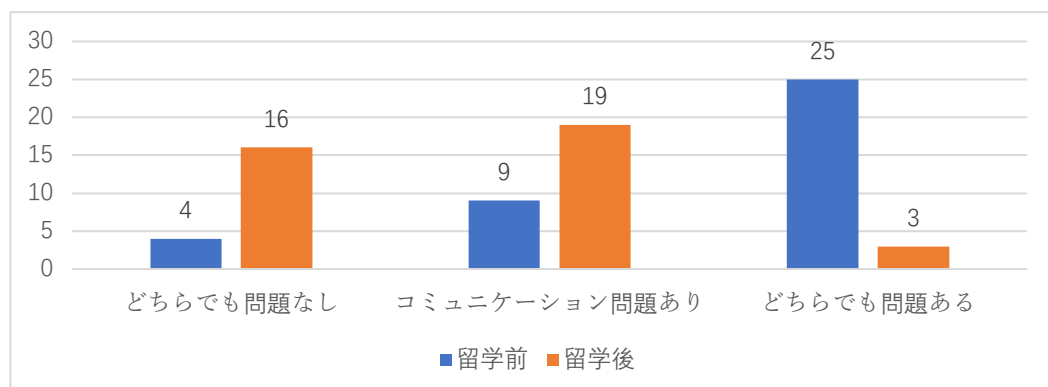


図3 留学前後の言語レベル比較図 (宇都宮大学)

3. 教育管理に関する調査結果分析

表 10 授業の中で一番大きな問題（上海海洋大学）

	授業内容	授業方法	問題なし	合計
人数	11	15	9	35
割合	31.4%	42.9%	25.7%	100%

表 11 授業の中で一番大きな問題（宇都宮大学）

	授業内容	授業方法	問題なし	合計
人数	20	16	2	38
割合	52.6%	42.1%	5.3%	100%

表 12 授業内容が理解できるか（上海海洋大学）

	できる	できない	合計
人数	13	22	35
割合	37.1%	62.9%	100%

表 13 授業内容が理解できるか（宇都宮大学）

	できる	できない	合計
人数	25	13	38
割合	65.8%	34.2%	100%

質問 17 は現在開設されている授業の中で最大の問題点を聞いたところ、上海海洋大学の調査データによると、11 人（31.4%）が授業内容を示し、15 人（42.9%）が授業体系を表し、9 人（25.7%）は問題なしだと答えた。授業中に教員の講義の内容が理解できるかと聞いたところ、13 人（37.1%）が肯定し、22 人（62.9%）が聞き取れないと答えた。

宇都宮大学の留学生の中には 20 人（52.6%）が授業内容を示し、16 人（42.1%）が授業方法を示し、2 人（5.3%）は問題なしだと表明した。その中の 25 人（65.8%）は先生の授業の内容が理解できる、13 人（34.2%）は授業の内容が分かりにくいと答えた。この結果は言語問題が留学生の学習の主要な障害の一つであることを示している。質問 20 で授業以外の時間で先生と学生の交流状況を調査したところ、上海海洋大学の調査データによると、このような交流状況は理想的ではなく、9 人（25.7%）だけが授業以外の時間で先生と交流があると答え、26 人（74.3%）は交流がないと答えた。質問 21 は留学生に学習の中で最も困難な部分を聞いたところ、13 人（37.1%）が言語の問題だと答

え、5 人 (14.3%) が授業内容を示し、6 人 (17.2%) が課程実践部分の完成だと答え、11 人 (31.4%) は試験が一番難しいと答えた。

宇都宮大学の調査データは比較的に良くて、31 人 (81.6%) は授業以外の時間で先生と交流があるとして、7 人 (18.4%) だけが授業以外で先生と交流していないとした。学習の中で最も困難と感じている部分については、宇都宮大学の留学生の 16 人 (42.1%) が言語の問題だと答え、11 人 (28.9%) が授業内容の学習に困難を示し、6 人 (15.8%) の留学生が課程実践部分の完成であり、5 人 (13.2%) の留学生は試験が一番難しいと答えた。

表 14 授業以外の時間で先生と交流があるか (上海海洋大学)

	ある	なし	合計
人数	9	26	35
割合	25.7%	74.3%	100%

表 15 授業以外の時間で先生と交流があるか (宇都宮大学)

	ある	なし	合計
人数	31	7	38
割合	81.6%	18.4%	100%

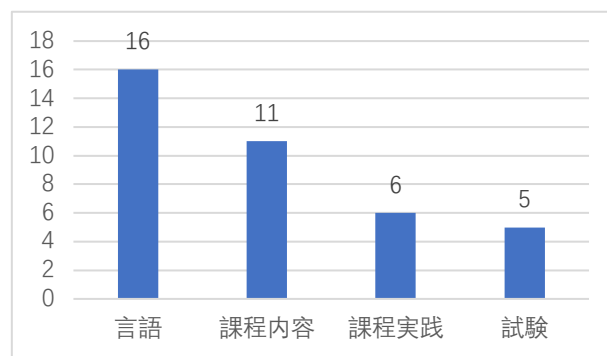


図 4 勉強の中で一番難しい部分 (宇都宮大学)

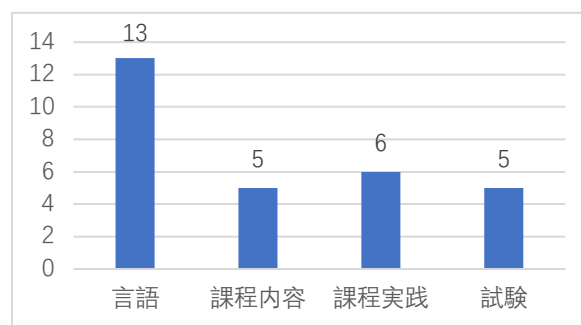


図 5 勉強の中で一番難しい部分 (上海海洋大学)

4. 生活管理に関する調査結果分析

生活管理に関する調査において、本研究は六つの質問がある、留学生の寮、食事、生活困難救助などの視座から考察する。寮について、上海海洋大学が留学生に寮を提供しているが、一部の留学生だけが自分のニーズに合致していると表明した。宇都宮大学の留学生は学校に留学生専用の寮がない。実際、多くの留学生は自分でアパートを借りている。留学生は日本に来たばかりの時、語学力が十分でなく、部屋を借りる上でも多くの困難がともなう場合が多い。

食事について、上海海洋大学の留学生は12人（34.3%）が学校の食堂でよく食事をするが、16人（45.7%）がたまに行くと言った。宇都宮大学の留学生3人（7.9%）が食堂で食事をする事が多いと答え、22人（57.9%）が食堂で食事をする事がたまにあると答え、13人（34.2%）が学校の食堂に行ったことがないと答えた。

生活指導の面で、上海海洋大学の留学生は学校に生活指導を提供してもらっていると言う。生活に困ったことがある時に、19人（54.3%）の留学生が自分の友達を探して助けてくれたと答え、12人（34.3%）の留学生が学校に助けを求めていると答え、また4人（11.4%）の留学生が自分で解決策を考えると答えた。最後に、大学が助けを提供した後の留学生の満足度を調査した。調査データによると、留学生の30人（85.7%）が満足している。

宇都宮大学の留学生に対する調査結果によると、困難をどう解決するかと問われると、32人（84.2%）が自分で解決するしかないと言った。

表 16 学校の食堂で食事をするか（上海海洋大学）

	常に	たまに	しない	合計
人数	12	16	7	35
割合	34.3%	45.7%	20%	100%

表 17 学校の食堂で食事をするか（宇都宮大学）

	常に	たまに	しない	合計
人数	3	22	13	38
割合	7.9%	57.9%	34.2%	100%

表 18 生活の中で困ったことがあったら、解決方法は（上海海洋大学）

	友達を探して解決する	学校を探して解決する	自分で方法を考える	合計
人数	19	12	4	35
割合	54.3%	34.3%	11.4%	100%

表 19 生活の中で困ったことがあったら、解決方法は（宇都宮大学）

	友達を探して解 決する	学校を探して解 決する	自分で方法を考 える	合計
人数	4	2	32	38
割合	10. 5%	5. 3%	84. 2%	100%

5. 奨学金及び就職管理に関する調査結果分析

奨学金及び就職管理に関する調査では、留学生の生活費、将来の発展と留学満足度など三つの観点の考察に重点を置いた。留学生の学習と生活費について、上海海洋大学の留学生は4人（11. 4%）が各種奨学金に依存することを経済源として示した。8人（22. 9%）は家庭からの支援を表明した。奨学金獲得の難しさについての調査の結果、3人（8. 6%）の留学生が奨学金を獲得しやすいと答え、8人（22. 9%）の留学生が奨学金の競争が激しいと答え、15人（42. 8%）は奨学金の数が少なすぎて、獲得が難しいと答えた。また、9人（25. 7%）の人は奨学金の数が少ないので競争も激しいということである。また、奨学金の選考方法についての合理性についての留学生の考えを聞いたところ、11人（31. 4%）が合理的だと答え、9人（25. 7%）が基本的に合理的だと答え、8人（22. 9%）の人が合理的ではないと答えた。筆者が調べた資料によると、上海市海洋大学の外国人留学生に対する奨学金は上海市海洋大学の外国人学長奨学金だけだ⁴⁰。上海市政府は外国人留学生に対しても政府奨学金を提供しているが、その取得割合は高くない。

宇都宮大学の調査データによると、奨学金で生活を維持する人はいない。18人が生活費は家庭支援であると答え、8人（21. 1%）はアルバイトで生活費を獲得していると答え、12人（31. 6%）は奨学金、アルバイト、家庭支援で生計を維持している。奨学金の申請の難しさについては、奨学金は簡単にもらえるという人はいない。奨学金の競争が激しいという人は6人（15. 8%）いる。15人（39. 5%）は奨学金の数が少ないと思った。17人（44. 7%）は奨学金の数が少なく競争が激しいと思った。

その中の大多数の留学生は奨学金の選別方法は基本的に合理的だと言った。宇都宮大学の外国人留学生に対する奨学金は、主に国際記念財団から出ている⁴¹。奨学金には大きく分けて月額給付と一時金給付の2種類がある。奨学金の種類は上海海洋大学よりも多いが、宇都宮大学の留学生を訪問したところ、奨学金も数が少なく、競争が激しいという問題を抱えていることがわかった。留学生たちは、日本の生活コストが高いため、学校が生活に困っている学生に対して奨学金を多く設立することを望んでいると話している。

⁴⁰ 上海海洋大学. 国際学生招生管理办法. 留学生工作办公室. 2020. 10

https://xxgk.shou.edu.cn/_upload/article/files/25/21/3ea4e49d4713a6036e32e42037be/65a3c545-691f-4442-bb0e-b0e5e857bfc1.pdf (2020年11月24日閲覧)

⁴¹ 宇都宮大学ホームページ. <https://intl.utsunomiya-u.ac.jp/within/> (2021年11月24日閲覧)

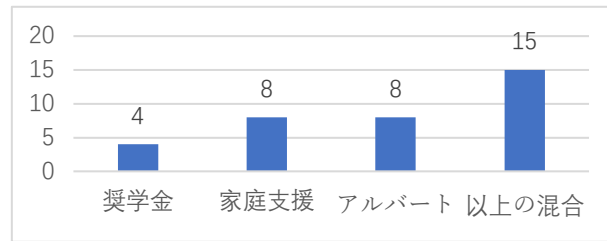


図6 学習費と生活費（上海海洋大学）

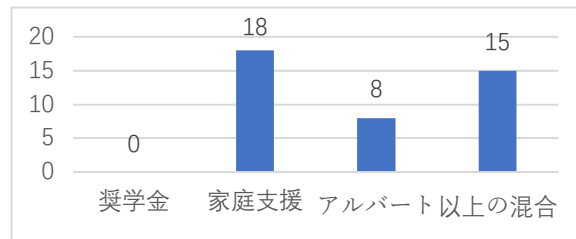


図7 学習費と生活費（宇都宮大学）

将来の計画についても調査した。将来中国で働く計画があるかどうかを聞かれた時、5人（14.3%）は中国で働くと回答した。20人（57.1%）は機会があれば中国で働きたい。10人（28.6%）は中国で働くつもりはないと答えた。以上の分析から、少なくとも71.4%の留学生は将来中国で働く意欲があると見られる。宇都宮大学の留学生の中には12人（31.6%）が日本で働きたいと言ったが、19人（50%）は機会があれば日本で働きたいと答えた。

表20 中国で働く予定があるか（上海海洋大学）

	ある	機会があれば中国で働く	なし	合計
人数	5	20	10	35
割合	14.3%	57.1%	28.6%	100%

表21 日本で働く予定があるか（宇都宮大学）

	ある	機会があれば中国で働く	なし	合計
人数	12	19	7	38
割合	31.6%	50%	18.4%	100%

第三節 上海海洋大学馬教授とのオンラインインタビュー内容

Q：留学生の質はどうですか？

A：あまりよくないです。特にここ数年、留学生の質があまりよくないと感じています。管理に大きな迷惑をかけました。

Q：私たちの学校には留学生のための施設がありますか？効果はいいですか？

A：確かにありますよ。例えば、寮とか、これは専用です。教室もあります。食堂は専門に配られていないと知っています。効果的に、教室と寮がいいです。

Q：留学生の授業効果はどうですか？

A：実は留学生がみんな悪いわけではないです。知識の基礎から言えば、欧米からの学生は発展途上国から来たほうが良いと思います。例えば、東南アジアから来たのです。アフリカから来たのですが、欧米の学生は少ないという印象があります。毎年うちの学校に来ている留学生のほとんどはアフリカ人です。東南アジアにもいくつかあります。例えばミャンマー、カンボジアなどの学生は英語もよくないし、中国語もだめです。授業は難しいです。比較的に、欧米の留学生の態度はとても良くて、少なくともここ数年みんなの英語のつまずいたのも交流することができて、しかしこれらの欧米の留学生は少ないです。

Q：留学生の募集の中で、私達の学校は主にどんな仕事をしていますか？

A：学生募集は主に国に頼っていましたが、私たちができることは多くないです。今は学生募集の自主権がありますが、留学生の自己申告で入学します。学校の主な任務は接待と教育をよくすることです。今は自主的に学生を募集しています。宣伝などの仕事が必要です。留学生の申し込みにはまだ審査資料が必要です。もし試験が必要なら、また教師を探して試験問題しなければなりません。問題はこれらが全部英語の能力が必要です。

Q：留学生に講義をしますか？

A：はい、私は高等数学の授業をしています。

Q. 英語で授業をしますか？

A：いいえ、中国語で講義しても、英語は話せますが、効果はあまりよくないです。一方、米国で2年間のドクター経験をしたことがありますが、授業言語と日常言語にはまだ明らかな違いがありますので、私の表現が正しいとは言えません。一方、留学生の英語にもなまりが多くて、聞いていても大変です。中国語で話したほうが良いです。

Q：他の先生は？

A：ほとんど中国語の授業です。

Q：留学生の課程設置には何か経験がありますか？

A：私たちが使っているのは確かに統一教材です。国内の学生と同じように、この教材は主に授業の先生が決めます。私は教師たちと会議してこの問題を討論したことがあります。留学生の反応から見て、彼らは教材に対する適応度が高くなく、ついていけないものもあります。まず国内では留学生専用の教材が不足しています。また、留学生が国内の学生とは違った教材を使うと、授業計画が立てにくくなります。最後はこの問題を見逃してしまいました。

第五章 宇都宮市と上海市の留学生支援政策現状の比較考察

第一節 社会地域からの留学生支援の比較

宇都宮市と上海市では、留学生支援事業にいくつかの違いがある。まず宇都宮市には宇都宮市国際交流プラザという団体があり、外国人に支援を提供している。上海市には留学生のための支援はあるが、専門の団体はない。しかし、宇都宮市国際交流プラザは、外国人への支援は充実していますが、外国人留学生への専門支援は行っていません。実際、宇都宮市国際交流プラザが現在支援している対象者のうち、留学生の割合は少ない。筆者は周りの留学生を訪問しても、宇都宮市国際交流プラザが行っている支援を知らない留学生が多い。この二点が宇都宮市国際交流プラザの留学生支援事業で完備が必要な点である。上海市としては、留学生支援事業を体系的に管理し、支援組織を設ける必要がある。留学生に他国での生活を保障させることができる一方で、地域文化の多文化交流を促進させることができる。

言語支援でも似たような問題がある。宇都宮市国際交流プラザは外国人向けの日本語支援教室を設けているが、留学生の参加率は低く、外国人社会人が多い。上海市では外国人留学生への言語支援はなく、一部の大学で入学前に中国語の授業を提供している。

奨学金支援については、上海市と宇都宮市では、留学生への奨学金体制が異なります。宇都宮市留学生奨学金は文部科学省、JASSO 日本学生支援機構、民間団体や学校が提供している。上海市留学生の奨学金は主に上海市政府と学校が提供している。しかし、本研究で前述した日本文部科学省と上海市政府のデータによると、宇都宮市と上海市留学生は奨学金の競争が激しく、奨学金を申請する留学生の割合は少ないという問題がある。

就職支援については、宇都宮市国際交流プラザが留学生に就職情報の提供や就職面接の練習などの就職指導を行っている。上海市は留学生の就職支援を主に政策に反映しており、優秀な留学生を卒業後に上海市で就職させるために、上海市は外国人留学生が卒業後、直接上海で就職できる政策を公布し、これまで外国人が上海で就職するには2年の就職経験制限を突破した。

文化交流活動では、宇都宮市国際交流プラザが定期的に文化交流活動を行っていて、地元の外国人と地域住民との交流を深めることを目的としている。しかし、交流活動の留学生参加率の向上は考慮されるべき問題である。それに比べて上海市の留学生管理は閉鎖的で、大学では留学生のための交流活動が行われているが、現地住民との交流活動はない。実際に留学先の国の文化を理解し、現地の学生や住民との交流を深めることは留学生活における重要な課題である。

第二節 学校からの留学生支援の比較

留学生募集において、筆者の調査データによると、宇都宮大学と上海海洋大学は留学生出身国がアジアとアフリカに集中している問題がある。アジアとアフリカの多くの国は国家発展の要求が高まるにつれて、グローバル化の趨勢がますます明らかになった。これらの発展途上国は人材育成の重要な役割を重視し始めた。次第に高等教育と人材育成の国家発展に対する重要性を認識した。ア

ジア、アフリカの学生の多くが、彼らは政府の支援で日本と中国に来て専門の教育を受けている。また、宇都宮市は日本の中核市として、その魅力は東京、京都、大阪などの大都市に及ばない。宇都宮大学は、日本では有名な国立大学ですが、その知名度は海外では高くない。先進国の優秀な留学生を誘致するのは難しい。上海にとって、上海市は中国で最も経済発展している都市で、留学生にとって魅力がある。しかし、上海市には有名大学が多く、上海海洋大学の魅力は他の有名大学には遠く及ばない。このため、宇都宮大学や上海海洋大学に留学生の出身地が集中しているという問題が生じている。そのため、先進国の留学生に対する学校の魅力を高め、留学生募集の宣伝をしっかりと行うことは宇都宮大学と上海海洋大学にとって考えに値する課題である。

留学生の教育資源については、調査の結果によると、宇都宮大学と上海海洋大学では留学生の教育資源の問題で異なる点があることが分かった。宇都宮大学の留学生寮の数が少ないので、申請が難しいのである。多くの留学生は、日本に来たばかりの時に部屋を借りるのが大変だと語っている⁴²。言語の問題がある一方で、日本に来たばかりで、日本の部屋を借りる流れがよく分からない。食堂については、宇都宮大学の食堂は食べ物が単一で、ラーメン、カツ丼、鶏肉丼サラダなど和食だけがある。食堂の食事はちょっと慣れないという留学生もいる。寮や食堂などは留学生の大学選択の一つの影響要素でもある。留学生のニーズを理解した上でそれを満たす必要性があうかを判断し、どのように改善していくべきかを考えていく必要がある。

上海海洋大学は留学生教育資源の利用効率が低い問題がある。現実的な状況から見ると、現在の中国の留学生の管理過程には深刻な資源浪費が存在している。主に「学校の規模を拡大する」と「学校の国際化度を向上させる」ということに現れている。しかし、十分な利用ができず、効果的に大学がこのような基礎施設を建設する際に期待した教育効果を発揮できなかった。上海海洋大学留学生国際文化学院の馬教授をオンラインで訪問内容によると、留学生専用寮と教室棟がある。教室棟もある。留学生の寮の1階には留学生用のカフェ、ジム、留学生用の食堂がある。しかし、留学生寮の利用率はあまり理想的ではない。実際には、寮に住んでいる留学生が少ないので、空いている部屋も多い状態である。このような計画不足の投資と非効率な管理は資源の大量の浪費をもたらした⁴³。留学生の数と学生寮のニーズを理解した上で、留学生寮の合理的な配分が必要である。留学生の教育資源を合理的に分配することは重要であり、留学生の生活の質と学習の質に影響を与えることができる。

留学生の生活指導において、上海海洋大学と宇都宮大学は生活指導上の共通問題がある。宇都宮大学と上海海洋大学にとって、留学生は来たばかりの時、言語障害と周辺環境に対する不慣れさから、不安が生じやすい。大学生生活の手順に慣れていないと同時に、手続きが一定の複雑さを持っている。留学生は生活上で多くの未解決問題に直面する。調査結果によると、宇都宮大学と上海海洋大学の留学生は生活や学習の中で困ったことがあったら、学校に助けを求めている留学生は少な

⁴² 筆者が周りの留学生（年齢：24、出身地：中国）をインタビューして得た回答。

⁴³ 趙金城、「来华留学生区域性分层教育与管理平台的构建」．高教探索．2011．

い。学校は留学生の生活指導が重要である。留学生はよく知らない環境の中で、一番よく知っているところは学校である。学校が多方面により良い生活指導を提供できれば、留学生の学びの環境の充実が図られると考えられる。

就職支援については、宇都宮大学の留学生国際センターが留学生に就職情報を提供し、専門の先生が留学生に就職相談を提供します。また、宇都宮大学は定期的に留学生の就職状況をメールで把握している。このように、宇都宮大学は留学生の就職状況に関心を持っている。しかし、上海海洋大学では留学生の就業率や就職指導に注目していない。馬教授とのインタビューによると、多くの留学生が就職情報をどこで探したらいいのか分からない。現在上海海洋大学が提供している就職指導は主に中国人卒業生を対象にしている。留学生の就職を促進することは、企業の国際化人材不足を効果的に緩和することができる。留学生の立場から言えば、留学先の会社から自分の国に派遣されて働く留学生も多い。留学生の育成を増大することは、企業の国家化人材の増加と地域活性化の向上に意義がある。

宇都宮市と上海市の留学生支援事業を考察したところ、両都市の留学生支援事業における共通点と相違点が明らかになった。両都市は経済、文化などの面で大きく異なるが、両都市の現地状況に合わせて留学生支援事業の長所を参考にし、短所を補完することに意味がある。留学生支援事業をどのように充実させるかは考えすべき課題であり、筆者は自分の研究が両都市の留学生支援事業に有効な参考意見を提供することを望んでいる。

おわりに

日本の現代留学生事業の発展の開始点は1983年の「留学生受入れ10万人計画」の公布である。中国の留学生教育事業の発展の開始点は1978年の中国共産党第十一期中央委員会第三回全体会議である。しかし、両国は発展の過程で経済、社会などの各方面の原因によって異なる軌跡と発展傾向が現れた。

本研究は「問題を探し、問題を分析し、策略を提出する」という全体的な構想に基づいて全体的な研究設計を行い、その中で「問題を探し、問題を分析する」部分が本論文の研究重点である。本研究の主な内容は以下の通りである。

まず、日本と中国の留学生の現状と既存の留学生政策を紹介した。留学生政策を理解した上で、筆者は訪問調査とアンケート調査を始めた。宇都宮市国際交流プラザの李氏の訪問を通じて、宇都宮市が現在、生活、異文化、心理面で外国人に提供している支援を知った。また、訪問を通じて、宇都宮市国際交流プラザの既存の外国人支援体制に問題があることが明らかになった。例えば、宇都宮市国際プラザによる留学生のみの支援や国際文化交流活動への留学生参加率が低いなどの問題があった。

次に、留学生募集管理、教育管理状況、生活管理と奨学金及び就職管理などの4つの視座をめぐって留学生向けのアンケートを設計し、宇都宮大学の留学生38名と上海海洋大学の留学生35名を選んでアンケート調査を行い、新型コロナウイルスの影響でアンケート調査はオンライン形式を採用した。同時に筆者は上海市海洋大学留学生教員の馬先生とオンラインインタビューを行った。調査結果の分析を通じて、現在、宇都宮市の留学生は出身国が単一で、能力レベルの差が大きく、留学生の教育資源が不足し、学校が留学生に提供する生活支援が少なく、奨学金競争が大きいなどの問題がある。上海海洋大学ではこれらの問題のほか、教員と留学生の交流が少なく、就職支援が不足しているなどの問題がある。

最後に、これらの問題に基づいて、宇都宮市と上海市の留学生支援体制に対応し、改善するための措置を提出した。主な提案は以下の通りである：第一に学校の宣伝に力を入れ、より多くの留学生を誘致する。第二に留学生の教育資源を有効的に利用する。第三に地域・大学連携で留学生により多くの生活・学習指導を提供する。第四に留学生教員の言語レベルを高める。第五に留学生の就職を推進し、卒業後の就職状況を把握することである。

日本にとっても中国にとっても留学生支援は教育事業の重要な構成部分の一つである。これらは、社会人材と国際交流人材の育成という役割を担っているといえる。日本と中国の世界における影響力がさらに大きくなり、経済は急速に発展している背景の下で、政府、地域と大学の協力を通じて、留学生の支援事業の改革を絶えず深化させ、日中両国は必ず国際化の高等教育強国になり、優秀な国際人材を育成し、世界の発展に貢献することができると思う。

補論

本研究の考察に基づいて、宇都宮市と上海市の留学生支援事業モデルにいくつかの参考意見を提供する。

第一に、学校の宣伝に力を入れ、より多くの留学生を誘致することである。

まず、学生募集宣伝を拡大することは必要である。宇都宮大学と上海海洋大学は国際文化交流展示会への参加など、様々な機会を利用して、学生募集の可能性のある国へ行って、現地語での大学案内を制作する。同時に、SNS を活用して、宇都宮市と上海市のビデオを制作し、都市の魅力を展示し、留学生に宇都宮市と上海市をよりよく理解させ、より多くの留学生を誘致することを目的としている。

次に、同窓会の役割を生かすことも重要である。同窓会の一つの学校の重要な資源であり、同窓会、特に海外同窓会は大学の学生募集の仕事を早めに進めて、コミュニケーションの障害を減らすことができる。例えば宇都宮大学には中国同窓会があり、協力して問題を解決する。これは在学中の留学生が多く困難を解決するのを助けるだけでなく、大学自体の宣伝にもなる。学校の国際的な影響力を拡大し、海外での認知度を高める効果がある。校友会を十分に活用し、大学の留学生募集活動に役立つ。

最後は、留学生向けの大学情報共有ホームページを作る。このホームページは多言語に対応する。宇都宮大学と上海海洋大学のホームページを通じて、大学や募集単位を紹介し、就職の状況、奨学金の情報などの情報を公開する。大学の魅力と影響力を増強することができる。

第二に、留学生の教育資源を有効的に利用することである。

まず、宇都宮大学と上海海洋大学については、留学生の数と学生寮のニーズを理解した上で、留学生寮の合理的な配分が必要である。留学生の寮が不足したり、多すぎたりすることを防止する。次に、留学生出身国の文化の違いを十分に理解する必要がある。留学生の安全管理において、文化の違いを十分に理解し、相応の管理対策を制定しながら、留学生の文化、宗教などを尊重する必要がある。最後に、有効な留学生の異文化管理メカニズムを確立する必要がある。留学生管理者は伝統的で単一の文化管理観念を変え、大学キャンパス文化の包容性を広げ、管理制度を確立し、文化の違いがもたらす困難を克服する。十分な異文化コミュニケーションと長期的な異文化管理は積極的に、効果的に留学生に対する管理を実施し、大学の国際化の目的を達成することができる。

第三に、地域・大学連携で留学生により多くの生活指導を提供することである。

学校はより多くの助けを提供する必要がある。例えば宇都宮大学の日本人学生ボランティアを募集し、日本に來たばかりの外国人留学生の生活を支援する。このほか、地域は大学と協力して、外国人留学生が入学する時、宇都宮市国際交流プラザは外国人留学生向けの生活指導講座を開設して、外国人留学生の質問に対して多言語回答を行い。留学生たちの生活上の不安を和らげると同時に、日中両国の友好交流を促進することもできる。しかし、上海市において、このように外国人のための生活や学習を支援する協会がない。上海海洋大学の留学生は、生活上の問題をどうやって解

決するか分からないことが多いと話している。地域においては、上海市は宇都宮市に学び、専門的な国際文化交流センターを設立し、外国人により多くの助けを提供し、国際文化の交流を促進する必要がある。

第四に、留学生教員の言語レベルを高めることである。

まず、宇都宮大学と上海海洋大学はメディア、特に海外メディアを十分に利用し、採用計画を海外に伝え、より多くの外国人教員を誘致する必要がある。次に、定期的に在校教員を組織して英語を勉強し、在校教員の英語レベルを高める必要がある。最後に、宇都宮大学と上海海洋大学は教員の海外訪問を多く組織することができ、一方で教員が外国語をよりよく勉強し、外国文化を感じ、留学生とよりよく交流することを助けることができる。一方、宇都宮大学と上海海洋大学をよりよく宣伝し、普及させ、人材導入を得ることができる。

第五に、留学生の就職を推進し、卒業後の就職状況を把握することである。

企業から見ても、留学生の中の優秀な人材が必要である。そのため、宇都宮市と上海市は留学生の中で優秀な人材の国内就業を促進し、留学生の就業指導を充実させることも必要である。また、留学生に全面的な就職指導を行うだけでなく、卒業後の就職状況を把握することも重要である。そのため、宇都宮市と上海市は留学生の卒業後のフォローアップサービスを確立し、整備する必要がある。

参考文献一覧

(日本語文献)

1. 国立教育政策研究所. 「OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA)」. 2000-2022.
<https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/index.html>
(2021 年 6 月 11 日閲覧)
2. JASSO. 「平成 30 年度外国人留学生在籍状況調査」.
<https://www.studyinJapan.go.jp/ja/statistics/zaiseki/data/2018.html>
(2021 年 6 月 12 日閲覧)
3. 文部科学省. 「外国人留学生在籍状況調査」 および 「日本人の海外留学者数」. 2021. 3. 30.
<https://resemom.jp/article/2021/04/08/61332.html>
(2021 年 9 月 27 日閲覧)
4. 総務省統計局. 「人口推計」. 2018. 10. 1.
<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2018np/index.html>
(2021 年 12 月 17 日閲覧)
5. 内閣府. 「平成 27 年版少子化社会対策白書」. 2015.
https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2015/27webhonpen/html/b1_s1-1-1.html
(2021 年 12 月 17 日閲覧)
6. 厚生労働省. 「2017 年人口動態統計月報年計 (概数)」. 2017.
https://www.meijiyasuda.co.jp/mybizsupport/contents/common/bizinfo/myilw/pdf/report_06.pdf
(2021 年 12 月 17 日閲覧)
7. 総務省統計局. 「平成 22 年国勢調査」. 2010.
<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kihon1/pdf/gaiyou1.pdf>
(2021 年 12 月 17 日閲覧)
8. 文部科学省. 「留学生受入れ 10 万人計画」の概要.
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/007/gijiroku/030101/2-1.htm#top
(2021 年 6 月 13 日閲覧)
9. 文部科学省. 「留学生政策に関する各種提言など」.
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/007/gijiroku/030101/2-2.htm
(2021 年 6 月 13 日閲覧)
10. 文部科学省. 「留学生 30 万人計画」骨子の策定について. 2017. 10. 21
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1420758.htm
(2021 年 6 月 13 日閲覧)

11. 文部科学省. 「留学生 30 万人計画」骨子の概要. 2017. 10. 21
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/_icsFiles/afielddfile/2019/09/18/1420758_002.pdf (2021 年 6 月 13 日閲覧)
12. 文部科学省. 「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」. 2017. 10. 21
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/1260188.htm
(2021 年 6 月 14 日閲覧)
13. 内閣部. 「日本の再興戦略改訂」. 2016
https://www5.cao.go.jp/keizaishimon/kaigi/minutes/2016/0602/sankou_04.pdf
(2021 年 6 月 14 日閲覧)
14. 日本学生支援機構. 「外国留学生の就職促進について」. 2017. 6
https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/job/_icsFiles/afielddfile/2018/12/06/01_h29guidance_monka_shiryo.pdf (2021 年 6 月 14 日閲覧)
15. 警察庁. 「来日外国人犯罪の情勢」. 2018
<https://www.npa.go.jp/hakusyo/h29/honbun/html/t4310000.html>
(2021 年 11 月 20 日閲覧)
16. 宇都宮市国際交流協会. <https://www.ucia.or.jp/outline.html>.
(2021 年 9 月 20 日閲覧)
17. 宇都宮大学ホームページ. <https://intl.utsunomiya-u.ac.jp/within/>
(2021 年 11 月 24 日閲覧)
18. 文部科学省. 「外国人留学生在籍状況調査及び日本人の海外留学数」. 2021. 3
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1412692.htm
(2021 年 9 月 27 日閲覧)
19. 文部科学省. 「2021 年度留学生受入れ促進プログラム」. 2021
https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_j/shoreihi/about.html (2021 年 9 月 27 日
閲覧)
20. 厚生労働省. 「外国人雇用対策」. 2021
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/gaikokujin/index.html (2021 年 9 月 28 日閲覧)
21. 太田浩(2015)「日本の大学国際化に関する政策の比較検討—日本の現状、課題、今後の展開：諸外国との比較を含めて—」日本高等教育学会第 18 回大会
22. 佐藤由利子 (2018) . 「移民・難民政策と留学生政策：留学生政策の多義性の利点と課題（特集 移民政策のグランドデザイン）」 . 移民政策研究 P29-43
23. 岡田昭人(2011). 「日本における留学生受入れ政策の史的展開過程と現状に関する一考察」 . 昭和女子大学近代文化研究所. P11-25

24. 黒田千晴 (2005) . 「中国の戦略的留学生受け入れ政策」. Cross-cultural studies review. P13-36

(中国語文献)

1. 刘新芝. 「新时期中国留学生教育」. 研究论文. P42
2. 中华人民共和国中央人民政府. 「国家中长期教育改革和发展规划纲要(2010-2022)」.
http://www.gov.cn/jrzq/2010-07/29/content_1667143.htm
(2021 年 6 月 11 日閲覧)
3. 中华人民共和国教育部. 「来华留学统计」. 2018
<http://jsj.moe.gov.cn/n2/7001/12107/1277.shtml>
(2021 年 6 月 12 日閲覧)
4. 国家统计局. 「第七次全国人口普查主要数据情况」. 2021.
http://www.stats.gov.cn/tjsj/zxfb/202105/t20210510_1817176.html
(2021 年 12 月 17 日閲覧)
5. 薛明 (2008) . 「現代日本留学生の発展と啓発」. 華東師範大学修士論文.
6. 教育部、外交部、文化部、公安部. 「外国人留生活動試行条例(改訂稿)」. 1979. 5.
<http://www.yidianzixun.com/article/0KZsOSXM>
(2021 年 11 月 20 日閲覧)
7. 李小红、彭文秋 (2020) . 「改革开放后来华留学生教育发展的三次浪潮」.
8. 全国人民代表大会常务委员会. 「中华人民共和国学位条例」. 1980. 2
<http://www.gs.fudan.edu.cn/6a/e6/c2800a27366/page.htm>
(2021 年 11 月 20 日閲覧)
9. 国务院. 「外国留学生管理办法」. 1985. 10. 14
<https://baike.baidu.com/item/外国留学生管理办法/4624272?fr=aladdin>
(2021 年 11 月 20 日閲覧)
10. 国家教育委员会. 「关于招收自费外国来华留学生的有关规定」. 1989. 6
<https://baike.baidu.com/item/关于招收自费外国来华留学生的有关规定/50442694?fr=aladdin> (2021 年 11 月 20 日閲覧)
11. 上海市财政局、上海市教育委员会. 「关于进一步完善上海市外国留学生政府奖学金资助体系和提高资助标准的通知」. 沪财教 55 号. 2015. 09. 18
12. 上海市政府新闻办. 「上海试点外国留学生毕业后直接留沪就业」. 2015. 8. 18.
http://news.cnr.cn/native/gd/20150818/t20150818_519572451.shtml
(2021 年 6 月 23 日閲覧)
13. 上海海洋大学. 「国际学生招生管理办法」. 留学生工作办公室. 2020. 10

https://xxgk.shou.edu.cn/_upload/article/files/25/21/3ea4e49d4713a6036e32e42037be/65a3c545-691f-4442-bb0e-b0e5e857bfc1.pdf

(2020 年 11 月 24 日閱覽)

14. 喻明明. 「来华留学生教育管理的若干问题研究」. 重庆大学. 2010
15. 李秀华、李溪萌、张妮娜. 「来华留学生跨文化适应障碍及其消解」. 现代教育管理, 2016
16. 「2016 年度中国来华留学生情况统计」.
http://www.moe.edu.cn/jyb_xwfb/xw_fbh/moe_2069/xwfbh_2017n/xwfb_170301/170301_sjtj/201703/t20170301_297677.html (2021 年 9 月 27 日閱覽)
17. 赵金坡. 「来华留学生区域性分层教育与管理平台的构建」. 高教探索. 2011
18. 中共中央办公厅、国务院办公厅. 《关于加强外国人永久居留服务管理的意见》. 2016. 2
http://www.gov.cn/xinwen/2016-02/18/content_5043448.htm (2021 年 9 月 27 日閱覽)
19. 谢玮. 「中日两国留学生支援政策比较研究—以留学生咨询工作为例」. 外国教育研究. 2006

資料

以下は、本研究で作成した、日本語、中国語、英語のオンライン・アンケート調査票である。

● アンケート（日本語）

第1部：基礎情報

1. 私の性別： ①男 ②女
2. 出身地は：
①アジア ②北米 ③ヨーロッパ
④アフリカ ⑤南米 ⑥オーストラリア
3. 日本（中国）に留学する予定時間：
①1年以下 ②1-2年 ③2年以上
4. 留学の目的：
①言語学習 ②技術学習 ③学位取得 ④大学交換教育
5. 日本（中国）に来る前に、長い外国生活の経験がありますか？
①ある ②なし
6. 日本（中国）に来る前に、日本（中国）のことを知っていますか？
①知っています ②知っていません
7. 日本（中国）に来た後、ここはあなたの期待に合致していますか？
①予想を超えた ②予想を満たしました ③予想を下回りました。

第2部：学生募集管理

8. なぜ日本（中国）に留学に来たのですか？
①個人の趣味 ②日本（中国）の学生募集宣伝 ③交流訪問
9. 日本（中国）に留学する前に、日本（中国）の学生募集政策を知っているか？
①よく知っている ②少し知っている ③分かりません
10. 日本（中国）の学生募集政策はあなたを引き付けましたか？
①はい ②いいえ
11. 日本（中国）に留学に来る前に、周りに学生や友達が日本（中国）に留学に来たことがありますか？
①ある ②ない
12. 日本（中国）に来る前に、日本語（中国語）を勉強したことがありますか？
①ある ②なし
13. 日本（中国）に来る前に、日本語（中国語）のレベルはどのタイプに合いますか？

- ①読書とコミュニケーションに支障がない
- ②読める、コミュニケーションに支障がある
- ③読書とコミュニケーションに支障がある

14. 日本（中国）に来てから、今のところ、私の日本語（中国語）のレベルはどのタイプですか？

- ①読書とコミュニケーションに支障がない
- ②読める、コミュニケーションに支障がある
- ③読書とコミュニケーションに支障がある

第3部：教育管理

15. 現在開設されている授業があなたをひきつけると思いますか？

- ①はい ②はい、受け入れられますが、改善が必要です ③いいえ

16. 現在開設されている授業の中で一番大きな問題は何ですか？

- ①授業内容 ②授業方法 ③問題ありません

17. 授業で先生の講義の内容が分かりますか？

- ①できる ②できない

18. 先生の試験の採点方法を受けますか？

- ①はい ②改善が必要です ③受けません

19. 先生は授業以外の時間であなたと交流がありますか？

- ①ある ②ない

20. 勉強の中で一番難しい部分は何だと思いますか？

- ①言語 ②課程内容 ③課程実践 ④試験

21. 使っている教材はあなたのニーズに合っていますか？

- ①はい ②いいえ

22. 日本（中国）の学生と一緒に授業することに慣れていますか？

- ①適応 ②ちょっと不適応があります ③非常に不適応です

23. 日本（中国）の学生の友達がいいますか？

- ①ある ②なし

第4部：生活管理

24. 学校は留学生のための寮を提供していますか？

- ①はい ②提供しない

25. 学校の食堂で食事をしますか？

- ①常に ②たまに ③しません

26. 食堂の食べ物はお口に合うと思いますか？

- ①非常に良い ②普通 ③口に合わない

27. 学校は生活指導を提供していますか？

- ①ある ②提供しない

28. 生活の中で困ったことがあったら、どうやって解決しますか？

- ①友達を探して解決する
②学校を探して解決する
③自分で方法を考える

29. 学校に助けを求めて生活困難を解決する時、学校の助けはあなたを満足させますか？

- ①満足 ②不満 ③どこで助けを求めているか分かりません

第5部：奨学金及び就業管理

30. 日本（中国）での学習費と生活費は（ ）で解決しますか？

- ①各種奨学金 ②家庭支援 ③アルバイト ④以上の混合

31. 宇都宮大学（上海海洋大学）が留学生に提供する奨学金は簡単にもらえますか？

- ①入手しやすい
②容易ではない、競争が激しい
③容易ではない、数量が少なすぎる
④難しい、競争が激しく、数量も少ない

32. 奨学金の選別方法は合理的ですか？

- ①合理的 ②基本的な合理的
③合理的ではない ④非常に不合理である

33. アルバイトをしたことがありますか？

- ①はい ②いいえ

34. 将来、日本（中国）で働く予定がありますか？

- ①あります、日本（中国）で働きたい
②機会があれば日本（中国）で働く
③いいえ

35. 友達が日本（中国）に留学に来たことを問い合わせたら、日本（中国）に留学することを勧めてくれますか？

- ①はい ②いいえ

● アンケート（中国語）

第1部：基本信息

1. 性别： ①男 ②女
2. 国籍：
①亚洲 ②北美 ③欧洲
④非洲 ⑤南美 ⑥澳大利亚
3. 预计来中国（日本）多久：
①1年以下 ②1-2年 ③2年以上
4. 留学目的：
①学习语言 ②学习技术 ③获得学位 ④大学交换教育
5. 来中国（日本）前，有长时间国外生活经验么？
①有 ②没有
6. 来中国（日本）前，对中国（日本）的了解程度？
①了解 ②不了解
7. 来中国（日本）后，是否与预想一样？
①超出预想 ②和预想大致一样 ③比预想差

第2部：学生募集管理

8. 为什么要来中国（日本）留学？
①个人的兴趣 ②被学生募集宣传吸引 ③交流访问
9. 来中国（日本）留学前，了解中国（日本）的学生募集政策么？
①很了解 ②了解一点 ③不了解
10. 被中国（日本）の的学生募集政策吸引么？
①有 ②没有
11. 来中国（日本）留学前，有周围的朋友来留学过么？
①有 ②没有
12. 来中国（日本）前，学习过汉语（日语）么？
①有 ②没有
13. 来中国（日本）前，汉语（日语）符合以下哪种情况？
①阅读和交流都没有障碍
②阅读没有障碍，交流有障碍
③阅读和交流都有障碍

14. 来中国（日本）后，现在的语言水平符合以下哪种情况？

- ①阅读和交流都没有障碍
- ②阅读没有障碍，交流有障碍
- ③阅读和交流都有障碍

第3部：教育管理

15. 对于现在开设的课程对你有吸引么？

- ①有 ②有，但是需要改善 ③没有

16. 现在开设的课程中最大的问题是什么？

- ①课程内容 ②授课方法 ③没有问题

17. 是否可以理解课程内容？

- ①可以 ②不可以

18. 是否接受课堂检验（考试）的方法？

- ①可以 ②有必要改善 ③不接受

19. 在上课以外的时间是否有跟老师交流？

- ①有 ②没有

20. 认为学习中最难的部分是什么？

- ①语言 ②课程内容 ③课程实践 ④考试

21. 使用的教材是否符合需求？

- ①是 ②否

22. 是否习惯和中国（日本）的学生一起上课？

- ①适应 ②有些不适应 ③非常不适应

23. 是否有中国（日本）的朋友？

- ①有 ②没有

第4部：生活管理

24. 学校是否有给留学生提供宿舍？

- ①有 ②没有

25. 去学校食堂吃饭么？

- ①经常 ②偶尔 ③几乎不去

26. 食堂的饭菜符合口味么？

- ①非常好 ②普通 ③不符合口味

27. 学校提供生活指导么？

- ①有 ②没有

28. 生活中有困难的时候是如何解决的?

- ①找朋友解决
- ②找学校解决
- ③自己想办法解决

29. 向学校寻求帮助时, 学校是否满足您的需求?

- ①满足
- ②不满足
- ③不知道去哪寻求帮助

第5部: 奖学金和就业管理

30. 在中国(日本)留学的生活费和学习费如何解决?

- ①各种奖学金
- ②家庭支援
- ③兼职打工
- ④前三种混合

31. 为上海海洋大学(宇都宫大学)留学生提供的奖学金是否容易获得?

- ①容易获得
- ②不容易获得, 竞争激烈
- ③不容易获得, 奖学金数量少
- ④竞争激烈并且数量少

32. 奖学金的采用方法是否合理?

- ①合理
- ②基本合理
- ③不合理
- ④非常不合理

33. 是否有打工?

- ①有
- ②没有

34. 将来是否有在中国(日本)工作的计划?

- ①有、想在中国(日本)工作
- ②如果有机会的话, 想在中国(日本)工作
- ③没有

35. 你会推荐朋友来中国(日本)留学么?

- ①是
- ②否

● アンケート（英語）

Part 1: Basic information

1. Gender: ① Male ② Female
2. Nationality:
① Asia ② North America ③ Europe
④ Africa ⑤ South America ⑥ Australia
3. How long do you expect to be China (Japan):
① Less than 1 year ② 1-2 years ③ More than 2 years
4. Purpose of studying abroad:
① Learning language ② Learning technology
③ Obtaining a degree ④ University exchange Education
5. Before coming to China (Japan), do you have long experience living abroad?
① Yes ② No
6. How much did you know about China (Japan) before coming to China (Japan)?
① Yes ② No
7. Is it the same as expected after coming to China (Japan)?
① Exceeding the expectation
② Roughly the same as the expectation
③ Worse than the expectation

Part 2: Student recruitment management

8. Why do you want to study in China (Japan)?
① Personal interests ② Attracted by student recruitment publicity ③ Exchange visits
9. Before studying in China (Japan), do you know the student recruitment policy of China (Japan)?
① I know a lot ② I know a little ③ I don't know
10. Are you attracted by the student recruitment policy of China (Japan)?
① Yes ② No
11. Before studying in China (Japan), have any friends around come to study?
① Yes ② No
12. Have you studied Chinese (Japanese) before coming to China (Japan)?
① Yes ② No
13. Before coming to China (Japan), which of the following conditions does Chinese (Japanese) meet?

- ① There are no barriers to reading and communication
- ② There are no barriers to reading and communication
- ③ There are barriers to reading and communication

14. After coming to China (Japan), which of the following is the current language level?

- ① There are no barriers to reading and communication
- ② There are no barriers to reading and communication
- ③ There are barriers to reading and communication

Part 3: Education management

15. Are you attracted to the courses now?

- ① Yes ② Yes, but need improvement ③ No

16. What is the biggest problem in the courses now?

- ① Course content ② Teaching method ③ No problem

17. Can you understand the course content?

- ① Yes ② No

18. Do you accept the method of examination?

- ① Yes ② Necessary improvement ③ Unacceptable

19. Do you communicate with teachers outside class?

- ① Yes ② No

20. What do you think is the most difficult part of learning?

- ① Language ② Course content ③ Course practice ④ Examination

21. Whether the teaching materials used meet the needs?

- ① Yes ② No

22. Are you used to attending classes with Chinese (Japanese) students?

- ① Adaptation ② Some maladjustment ③ Very maladjustment

23. Do you have any friends from China (Japan)?

- ① Yes ② No

Part 4: Life Management

24. Does the University provide dormitories for international students?

- ① Yes ② No

25. Do you go to the school canteen for dinner?

- ① Often ② Occasionally ③ Hardly go

26. Does the food in the canteen meet the taste?

- ① Very good ② Ordinary ③ Not in line with the taste

27. Does the school provide life guidance?

- ① Yes ② No

28. How to solve difficulties in life?

- ① Find a friend to solve it
② Find a school to solve it
③ Find a way to solve it yourself

29. When seeking help from the school, does the school meet your needs?

- ① Satisfied ② Dissatisfied ③ Do not know where to ask for help

Part 5: Scholarship and employment management

30. How to solve the living expenses and study expenses of studying in China (Japan)?

- ① Various scholarships ② Family support
③ part-time work ④ Mixture of the first three

31. Is it easy to obtain scholarships for international students of Shanghai Ocean University. (Utsunomiya University)?

- ① Easy to obtain
② It is not easy to obtain and the competition is fierce
③ It is not easy to obtain and the number of scholarships is small
④ The competition is fierce and the number is small

32. Is the method of scholarship reasonable?

- ① Reasonable ② Basically reasonable
③ Unreasonable ④ Very unreasonable

33. Do you work part-time?

- ① Yes ② No

34. Are there any plans to work in China (Japan) in the future?

- ① Yes, I want to work in China (Japan)
② I want to work in China (Japan) if I have the opportunity
③ No

35. Would you recommend a friend to study in China (Japan)?

- ① Yes ② No

あとがき

2020年から2022年までの2年間、宇都宮大学の修士課程を勉強しており、指導教授中村祐司先生及び社会デザイン科学専攻の多くの先生方にお世話になり、暖かいご支援と励ましをいただきました。本日、この場を借りて心よりあとがきを述べさせていただきたいと思います。

今回、論文を作成している間、論文の構成から修正まで、中村祐司先生、阪田和哉先生、加藤謙一先生、研究室メンバーからいろいろ貴重なアドバイスを賜りました。

まず、指導教授である中村祐司先生に深くお礼を申し上げます。先生の博学な専門知識、厳格な研究態度、絶えず改善する仕事のやり方、そして、素朴で優しいお人柄は私に多大な影響を与えてくださいました。そして、私に基本的な研究方法を指導して頂いただけでなく、多くの人や物事に摂する態度と处世の道理を教えてくださいました。ここに、謹んで先生に崇高な敬意と心からの感謝を表する次第です。それから私の副指導教授阪田和哉先生と加藤謙一先生がいつも励ましてくださったことも、私には大きな力になりました。副指導教授の先生方にもお礼を申し上げたいと思います。

また、研究室メンバーと友人に感謝を表したいと思います。特に、院生的那須野親さんと川口直樹さんの修正意見は私に大きな助けを与えました。本当にありがとうございます。楽しい留学生活を大過なく終えることができたのは、先生方、研究室メンバーと友人からの支援と激励があったおかげです。最後にいつも私を支えてくれた両親に感謝の念を捧げなければならないと思います。

日本の留学生活は私にとってとても貴重な経験だと思います。日本に来たばかりの時、私はほとんど日本語ができなくて、先生方と友達と交流するのも難しいです。しかし、彼らは私に馴染みと丁寧を感じさせ、絶えず支援をいただいて、私はすごく感動します。こられは私の生活と勉強の向上にモチベーションを高める効果となります。同時に、私も自分に感謝したい。この2年間の修士課程生活の中で、多くの挫折に遭った、自分の積極的で楽観的に努力して前向きに進めます。それ以外に、母国と両親からの24年間の激励や支援に感謝します。私は未来一層優秀な人になると信じています。これからもグローバルな視点で世界に貢献できるように頑張ります。